

## 令和2年7月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年7月30日（木）午後1時30分～午後7時10分
2. 場 所 岸和田市教育センター2階 大研修室
3. 出席者  
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 谷口 馨  
委 員 野口 和江
4. 事務局出席者  
教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 和泉 全史／生涯学習部長 牟田 親也  
総務課長 高井 哲也／学校適正配置推進課長 池内 正彰  
学校給食課長 井出 英明／学校管理課管理担当長 大山 茂樹  
産業高校学務課長 樋口 泰城／学校教育課長 倉垣 裕行  
人権教育課長 八幡 泰輔／生涯学習課長 寺本 隆二  
スポーツ振興課長 庄司 彰義／郷土文化課長 西村 久美子／図書館長 橋本 純  
総務課参事 松本 秀規／総務課参事 井上 慎二

### 開会 午後1時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に植原教育長職務代理者を指名した。  
傍聴人10名。

### ○大下教育長

ただいまから、令和2年度7月の定例教育委員会会議を開催します。

### 報告第34号 岸和田市立八木南小学校への寄贈について

#### ○大下教育長

報告第34号について、説明をお願いします。

#### ○大山学校管理課管理担当長

報告第34号につきましては、岸和田市立八木南小学校への寄贈についてです。

寄贈品については、オルガン2台を寄贈していただきました。換算額は30万円です。寄贈目的は、八木南小学校の学校教育活動に使用のため、寄贈者は、泉佐野市葵町在住の加茂様からいただいております。寄贈年月日は、令和2年6月29日です。

#### ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

## 報告第 35 号 令和元年度支援学級在籍生徒の進路状況について

### ○大下教育長

報告第 35 号について、説明をお願いします。

### ○八幡人権教育課長

報告第 35 号につきましては、令和元年度支援学級在籍生徒の進路状況についてです。

表には令和元年度に支援学級に在籍していた中学校 3 年生の生徒 70 名の進路状況を記載しています。進学した者につきましては、全日制課程が 37 名、定時制課程が 6 名、通信制課程が 12 名、支援学校が 12 名、その他が 3 名となっています。

前回の会議で指摘のありました、砂川高等支援学校につきましては、支援学校に計上しています。また、貝塚高校の自立支援コースは全日制課程に分類されますが、そちらに進学した者はありません。

### ○大下教育長

何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

### ○野口委員

定時制に行かれた方は、ほとんど産業高校でしょうか、佐野工科高校もいるのでしょうか。

### ○八幡人権教育課長

申し訳ありませんが、実際にどの高校に進学したかの資料は持ち合わせておりません。

### ○大下教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

## 報告第 36 号 「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」岸和田市実行委員会設立総会・第 1 回総会の開催について

### ○大下教育長

報告第 36 号について、説明をお願いします。

### ○庄司スポーツ振興課長

報告第 36 号につきましては、「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」岸和田市実行委員会設立総会・第 1 回総会の開催についてです。

岸和田市で開催される競技会に必要な準備及び企画運営等を行うことを目的に、実行委員会を設立し、第 1 回総会を開催しました。

日時は、令和 2 年 7 月 7 日、場所は岸和田市総合体育館会議室で行いました。

概要につきましては、4 年毎に開催される世界最高峰の生涯スポーツの国際大会で、概ね 30 歳以上の一般アスリートが参加でき、アジアでは初めて、そして関西一円で開催されます。

期間は来年 5 月 14 日から 30 日までとなっております。競技数は 35 競技で、約 5 万人を目標としています。大会の特徴については、アジア初の開催であること、初の広域開催ということで関西一円で開催となります、三つ目は過去最大規模の大会を目指しているところ、四つ目はラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックと連携した大規模国際スポーツ大会の連続開催となっています。ラグビーワールドカップやオリンピックが見るスポーツであることに対して、ワールドマスターズゲームズは、誰もが参加できる、するスポーツであるのが特徴です。大阪府内で開催される競技は、東大阪市のラグビーフットボー

ル、堺市のサッカー・フットサル、泉南市では海で泳ぐオープンウォーター、そして岸和田市で開催されるBMXです。BMXは、サイクルピア岸和田BMXコースにて、5月21日から23日まで開催されます。

岸和田市実行委員会の目的ですが、ワールドマスターズゲームズ2021関西において、岸和田市で開催される競技会の運営に必要な準備及び企画運営等を行うことです。構成団体は資料に記載のとおりです。事務局はスポーツ振興課です。

実行委員会を立ち上げまして、2つの部会を設置しました。一つ目が企画調整・魅力創造部会ということで主に観光や国際交流、岸和田の魅力発信をこれから検討していく部会です。もう一つがスポーツ推進・競技部会ということでBMX競技のあり方について検討していくというこの2つの部会で、それぞれ検討しながら進めていきます。

#### ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

#### ○谷口委員

非常に楽しみにしている大会ですが、今のコロナ禍の現状の中でそれについて何か言及はありましたか。また準備が必要ですので、いつまでに開催を決めるといった議論はありましたか。

#### ○庄司スポーツ振興課長

今のところ来年に予定とおり開催ということで準備を進めています。ただ今後の状況によりましては、11月の下旬に再度、今後のあり方が発表されると聞いています。また、岸和田で開催されるBMXは、定員が100名のところ今エントリーが35名程となっています。ただエントリーは来年の2月までです。今の状況はそういったところです。

#### ○大下教育長

競技にたくさん来ていただくということと、それを見にたくさん来ていただくということと、それを通じてスポーツに関心を持っていただく市民、府民、国民の方を増やしていくという使命として大事で、コロナで少し萎んでしまう可能性がありますので、この実行委員会では別途有名なBMXの方にアンバサダー、アドバイザーとして、就いていただいています。その辺りの情報提供もしていただけますか。

#### ○庄司スポーツ振興課長

北京オリンピック日本代表として出場されました、阪本章史（さかもと あきふみ）選手にアンバサダーとして、また岸和田市のアドバイザーとして就任していただきました。また阪本選手に動画を作っていただきまして、動画を使つてのPRでありますとか、阪本選手独自のSNSの発信でいろいろな選手に対するPRでありますとか、そういったことも行っているところです。

#### ○大下教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

### 報告第37号 久米田寺文書の重要文化財追加指定について

#### ○大下教育長

報告第37号について、説明をお願いします。

## ○西村郷土文化課長

報告第 37 号につきましては、久米田寺文書の重要文化財追加指定についてです。

「くめだじ」という名称ですが、「くめだでら」という呼び方で親しまれている方もおられるかと思いますが、様々な説があり、今回は所有者様の意向をくみ、「くめだじ」で説明させていただきます

概要ですが、資料名は「久米田寺文書 132 通 18 巻」です。文化庁への答申日は 令和 2 年 3 月 19 日です。

答申内容ですが、令和 2 年 3 月 19 日に府の指定文化財であった「久米田寺文書（116 通）17 巻」が、国の指定重要文化財「紙本墨書（しほんぼくしょ） 久米田寺文書」に追加指定をされることとなりました。これにより、国の指定文化財が「久米田寺文書（132 通）18 巻」となりました。「久米田寺文書（132 通）18 巻」は、鎌倉時代から江戸時代までの久米田寺に伝存する中近世文書です。

次に周知方法としましては、広報きしわだ 8 月号に掲載予定となっています。市のホームページへは既に掲載しています。

あと、大阪歴史博物館にて特別公開として、7 月 22 日から 8 月 24 日まで「国指定重要文化財 久米田寺文書の世界」というテーマで展示され、既に開催されています。大阪府に残存する中世文書をまとまっておりますごらんいただける貴重な機会となりますので、ぜひご興味のある方は遠方となりますがご覧いただけたらと思います。報道提供も歴史博物館からされており、本市の広報広聴課よりツイッターやフェイスブックにも掲載しています。

次に主な資料です。久米田寺は、天平 10 年（738 年）に行基によって創設されたと伝えられている古刹であり、多くの貴重な文化財が伝えられています。今回の 132 通のうちの 2 点を紹介させていただきます。

1 点目です。「関東下知状の一部」です。宝治 2 年（1248 年）12 月 5 日に出されたものです。

久米田寺と山直郷の地頭代が久米田寺領の免田への課税について争い、鎌倉幕府が判決したことがわかる裁判記録です。岸和田地域における鎌倉前期の実情が詳細に記され、当時の和泉国の免田や地頭の実態が窺える貴重な資料です。

2 点目ですが、「安東蓮聖 助泰置文」です。正安 4 年（1302 年）8 月 12 日のものです。

内容としましては、久米田寺は鎌倉後期まで荒廃していましたが、安東蓮聖、助泰、高泰という安東氏 3 代が久米田寺の復興に尽力しています。特に安東蓮聖は、西日本各地にて活躍した北条氏直属の家臣で、久米田寺の統括職を東大寺より買取り、その所領を寄進するなど、久米田寺の大檀那としてその交流に多大な役割を果たしました。この資料は、安東蓮聖・助泰親子が中村荘半分の領主権利を久米田寺領として寄進することを進めたことなどがわかる文書です。

## ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告は以上ですが、ほかに報告はないでしょうか。ないようですので、議案の審議に移ります。

---

## 議案第 46 号 令和 3 年度市立幼稚園児の募集について

### ○大下教育長

議案第 46 号について、説明をお願いします。

### ○高井総務課長

議案第 46 号につきましては、令和 3 年度市立幼稚園児の募集についてです。

令和 3 年度の 3 歳児教育の実施園につきましては、今年度と同様、市立幼稚園 10 園で行う予定です。

市立幼稚園児募集要項（案）に基づき、3 歳児から 5 歳児までの園児を募集します。

3 歳児の募集要項（案）ですが、募集人数、募集園及び通園区域につきましては昨年と同様です。願書の配布は 9 月 7 日から全幼稚園にて配布します。願書の受付期間及び場所につきましては、9 月 16 日（水）、17 日（木）の 2 日間、午後 2 時から午後 5 時まで各 3 歳児募集幼稚園で受け付けます。

なお、定員 25 名を超える応募がある場合には、10 月 8 日（木）午後 2 時から当該 3 歳児募集幼稚園で公開抽選を行います。結果、待機となった場合には、定員に達していない幼稚園に二次募集として応募していただけます。

二次募集により定員を超える場合、二次募集の公開抽選を 10 月 14 日（水）に予定しています。その後は、定員に達していない幼稚園で随時の受付を行っていきます。

次に 4 歳児及び 5 歳児の募集についてです。例年と異なる点についてご説明いたします。例年 10 月に 5 歳児から先に願書配布、受付を行い、その後に 4 歳児の募集を行っていましたが、令和 3 年度募集からは、4 歳児及び 5 歳児の願書配布及び願書受付を同じ日程で行う予定です。

園児募集については、3 歳児は広報きしわだ 8 月号、4、5 歳児は 9 月号、市ホームページ、3 歳児募集幼稚園で立て看板設置、各幼稚園等にポスターを掲示、また町会にも依頼しポスター掲示を行っていただきお知らせします。

### ○大下教育長

説明が終わりました。4 歳児 5 歳児を同日願書配布、受付にしたのは、定員に比較的空きがあるので、5 歳児で定員を満たすことはないであろうという想定のもとですか。

### ○高井総務課長

昨年までは、先に本来園区の 5 歳児を募集し、残りの枠で 4 歳児を募集していましたが、応募の枠に余裕がありますので、同日でと考えています。

### ○大下教育長

本件について、他に何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

## 議案第 47 号 職場におけるハラスメントに関する防止及び対応に関する指針の改定について

### ○大下教育長

議案第 47 号について、説明をお願いします。

## ○高井総務課長

議案第 47 号につきましては、職場におけるハラスメントに関する防止及び対応に関する指針の改定についてです。

大阪府教育委員会が策定した「職場におけるセクシャル・ハラスメント」、「職場におけるパワー・ハラスメント」及び「職場における妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント」のそれぞれのハラスメントの防止及び対応に関する指針」をふまえ、岸和田市においてもそれぞれのハラスメントの指針を策定し、施行しています。このたびの大阪府教育委員会の改定に合わせて、本市の指針を改定するものです。

セクシャル・ハラスメントについては、議案書の次に改正後の指針（案）をつけています。さらに3枚めくっていただき、改正前、改正後の対照表をご覧ください。

表の右の改正後に「項目の追加」、「文言の修正等」の箇所に入線を入れています。主に1ページ中段下“4”にセクシャルハラスメントの内容と2ページに典型的な例を追加しています。

次にパワー・ハラスメントについては、指針（案）4枚めくっていただくと、対照表をつけています。1ページ目から4ページにかけて、概念、代表的な類型を記載した内容を追加しています。8ページ、9ページの削除部分は、先ほどの概念の方へ記載されています。

最後に妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントについては、指針（案）4枚めくっていただくと、対照表をつけています。4ページに教職員が留意すべき事項を追加しています。

大きく言えば、3つの指針の項目の統一化を図った改訂となり、本日承認をいただければ、施行日はいずれも明日令和2年7月31日を考えています。

## ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

## ○谷口委員

こういったハラスメントは何か事件となり初めて報道されて、しばらくの間大問題になり、またしばらくすると収まっているということを繰り返しているように思います。今回の改訂のところで、具体的な例をだして、これがパワハラになるのだ、この言葉がセクハラになるのだということを書いているのは非常に良いと思いますが、全職員にそれを事例として見てもらわないと、認識がないということになるのだらうと思います。パワハラにしても自分の行為がパワハラだったということを認識していない上司、同僚の人が非常に多いと思いますので、周知できるようにお願いしたいと思います。

それと、相談窓口の受付時間帯ですが、職員総合センターはメールで24時間受け付けていますが、他は9時から5時になっていますので、悩んで相談しようと思った時には夜になっていることが多いと思います。警察も含めて関係省庁のどこかで夜でも受け付けてもらえるようなところ、或いはメールでも良いので窓口をもう少し広げた方が良いのではないかと思いますので、ご検討をお願いします。

## ○高井総務課長

教職員への周知につきましては、学校にもこれらの指針を配付し周知を徹底していただくと考えています。

窓口については、可能であるかどうか検討していきたいと思っております。議案

**○大下教育長**

他に何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

**議案第 48 号 補正予算について（事業費補正）**

**○大下教育長**

議案第 48 号について、説明をお願いします。

**○高井総務課長**

議案第 48 号につきましては、補正予算について、事業費補正についてです。

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により休業を余儀なくされて、経済的に困窮する家庭の増加が想定される所です。そこでその影響により収入減少など特別事情として児童生徒の保護者に対し援助を行うための費用について、今開催されています第 2 回臨時市議会で歳入歳出予算補正を審議していただいている所です。

また、令和 3 年の 4 月に新小学 1 年生となる児童の入学準備金を早期支給するための費用、そして寄附にかかるものにつきまして、第 3 回定例市議会で審議いただくための予算要求をしているという段階になります。

寄附の方は、6 月 23 日に中北町の梶野様から 50 万円のご寄附を教育振興費に充当という目的でいただいています。

また、第 2 回臨時市議会で審議していただいている、経済的に困窮している家庭に支給する小学校及び中学校の就学奨励費の補正額ですが、小学校では 26,738 千円、中学校では 23,723 千円です。

第 3 回定例市議会で審議していただくものは、歳入では先ほどのご寄付 500 千円です。歳出はご寄附を教育基金に積み立てるもの、小学校費では入学準備金の早期支給の準備にかかる費用を計上しています。

**○大下教育長**

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○野口委員**

コロナの影響で困窮している家庭というのは、現在の就学奨励費の対象の方の中のことでしょうか。

**○高井総務課長**

通常であれば前年の所得で判定させていただいていますが、今年に入って収入が大幅に減少したという世帯が多いと思っておりますので、前年の所得では所得超過でもコロナの影響で収入が下がったという事例があれば、特別事情として今年の収入で判定させてもらい、認定されれば 4 月に遡って支給していこうと進めている所です。

**○大下教育長**

他にいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

## 議案第 49 号 令和 3 年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜における学力検査問題の選択、配点比率及びアドミッションポリシーについて

### ○大下教育長

議案第 49 号について、説明をお願いします。

### ○樋口産業高校学務課長

議案第 49 号につきましては、令和 3 年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜における学力検査問題の選択、配点比率及びアドミッションポリシーについてです。

概要は、産業高校学入学者選抜における学力検査及び実技検査等の問題については、大阪府教育委員会により作成されますが、国語、数学、英語の学力検査問題について、特別選抜については 2 種類、一般選抜については 3 種類作成されることから、令和 3 年度入学者選抜に向け使用する問題を選択するとともに、配点比率及びアドミッションポリシーについて定めるものです。

一つ目に問題の種類ですが、全日制の特別入学者選抜は実技を伴うもので、本校ではデザインシステム科が該当し、B の標準的な問題を選んでいきます。全日制の一般入学者選抜、本校の商業科、情報科ですが、こちらについても B の標準的な問題を選択しています。定時制につきましては、一般入学者選抜でして A の基礎的な問題を選択しています。

続いて二つ目、学力検査の成績と調査書の評定の比率です。特別入学者選抜、一般入学者選抜ともに倍率のタイプⅢを選んでいまして、学力検査の成績と調査書の評定の比率は 5 対 5 と同じです。

続いて三つ目は、アドミッションポリシー、求める生徒像ですが、全日制については、「本校志望の意志が強く、目的意識を持って粘り強く勉学に励み、また部活動に積極的に入部して自分の新たな可能性を追求する生徒」等 4 項目あります。

また、定時制については、「働きながら、高校卒業資格取得に向けた熱意のある生徒」等 4 項目を案として作っています。

### ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

## 議案第 50 号 補正予算について（事業費補正）

### ○大下教育長

議案第 50 号について、説明をお願いします。

### ○寺本生涯学習課長

議案第 50 号につきましては、補正予算について（事業費補正）です。

本案は、「新型コロナウイルス感染症」にかかる事業で、市民が安心・安全に利用できる施設を念頭におき、公民館等の閉鎖的空間における新型コロナウイルス感染防止対策や熱中症防止対策を講じる目的から、移動式業務用送風機の導入を図るためのもので、現在、令和 2 年第 2 回臨時市議会において、歳出の補正予算を求めており、審議いただいています。

これは、現在、公民館等では公民館利用者間の集団感染を防ぐにあたり、定期的な換気を行ったり、3 密を避けるため、各部屋の定員を 1/2 もしくは 1/4 に減らしたり、また、室内

で近距離での会話、多数の利用者が集まり室内において大きな声を出すこと、歌うこと、呼吸が激しくなるような運動は、利用の制限を設けているなどの対策を取っております。

今回、特に基本的な換気の重要性に着目し、移動式業務用送風機を導入することにより、換気機能を高め、少しでも感染リスクの軽減を図ります。公民館等の安心・安全な空間を維持するためのひとつの有効な手段だと考えております。

**○大下教育長**

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○谷口委員**

各公民館に1台という訳ではなく、イベント等がある時に移動式なので持っていくということですか。

**○寺本生涯学習課長**

公民館19館ありますが、そこに1台ずつを考えています。

**○大下教育長**

ほかにありませんか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

**議案第51号 補正予算について（事業費補正）**

**○大下教育長**

議案第51号について、説明をお願いします。

**○寺本生涯学習課長**

議案第51号につきましては、補正予算について、事業費補正です。公共施設のインターネット環境整備事業です。

本案は、新型コロナウイルス感染症にかかる事業です。公民館等のうち、中央館・拠点館の6館にWi-Fiによるインターネット環境を整備し、生涯学習の情報発信機能を強化するとともに、より多くの市民への学習活動の促進が可能となり、新たな手法で市民ニーズに合わせた“学び”の提供する目的から、公共施設のインターネット環境整備を図るもので、令和2年第3回定例市議会において、歳出の補正予算を求め、審議いただくものです。

現在、財政課に対し予算要求をしておりますので、補正予算額は要求額となっております。

これは、新型コロナウイルス感染拡大のため、4月8日から5月25日まで公民館等を休館としました。現在は、部屋の定員の縮小・活動内容の制限を設け開館としていますが、公民館等施設内のインターネット環境が整っていないため、講座のオンライン開催等の代替処置を講じることが出来ず、4月8日より公民館事業を全面的に中止せざるを得ない状況となりました。

今回、Wi-Fiによるインターネット環境を整備することにより、オンラインでの講座や教室、会議等の開催が可能となり、公民館活動の停滞の緩和を図ることができる事業だと考えております。

**○大下教育長**

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

これは、市や公民館主催事業だけではなく、市民の方が利用される際に自由に活用していただけるような環境整備ということでしょうか。

#### ○寺本生涯学習課長

今考えていますのは、公民館の講座や教室等をオンライン開催できないかというところを基本にしています。今後は市民センター等でも市民懇話会等そういったところに参加できるような形を考えていくことができればと思っておりますが、まずは市主催のものから始めていきたいと考えています。

#### ○大下教育長

他にありませんか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

#### 議案第 52 号 補正予算について（事業費補正）

##### ○大下教育長

議案第 52 号について、説明をお願いします。

##### ○橋本図書館長

議案第 52 号につきましては、補正予算について、事業費補正です。

去る 7 月 16 日にご寄附をいただきましたので、令和 2 年第 3 回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただく予定のものです。

ご寄附をいただきましたのは、一般財団法人 永井熊七記念財団様で、児童用の図書 346 冊分の購入費用として、996,695 円をいただきました。

今回のご寄附も含め、永井熊七記念財団様からは昭和 51 年より、ほぼ毎年ご寄附をいただいております。寄付総額は累計でおよそ 4,400 万円になります。購入させていただいた図書は、今年購入予定の分を含めると、累計で 14,825 冊になります。

例年、永井熊七記念財団様からは 50 万円や 100 万円といったまとまった金額でご寄附いただいておりますが、今回は、ご寄附により購入させていただく予定の図書をあらかじめ図書館から提示させていただいたところ、その図書の購入代金をご寄附いただきましたので、1 円単位までであるといったご寄附をいただいたという経過です。

これからも、ご寄附の趣旨に沿った形で児童用図書の充実等に努めてまいります。

##### ○大下教育長

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

#### 議案第 53 号 補正予算について（事業費補正）

##### ○大下教育長

議案第 53 号について、説明をお願いします。

##### ○橋本図書館長

議案第 53 号につきましては、補正予算について、事業費補正です。

図書館における新型コロナウイルス感染拡大防止策として、図書除菌機と空気清浄機を設置したく、現在開会中の令和 2 年第 2 回臨時市議会にて歳出補正予算を審議いただいているものです。

図書除菌機につきましては、図書を紫外線と抗菌剤で除菌・消臭を行うもので、来館者のみなさんにご自由に使用していただくものです。既に図書館の分館には設置済みのものですが、

これを本館にも設置するものです。

空気清浄機につきましては、空調使用時や雨天時など窓の開放による換気が困難な場合においても、来館者が不安を感じることなく図書館を利用いただけるようにするものです。

いずれも、図書館利用者に少しでも安心してご来館いただける環境を整えることで、図書館をより活用いただき、読書を通じて有意義な時間を過ごしていただけるよう支援するものです。

**○大下教育長**

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○谷口委員**

図書の除菌機ですが、調べますと風を送りながら紫外線をあてる、しかも数秒間のようで何分間もということではなかったように思います。完全に除菌できたと錯覚してしまう方が怖いなと思いました。基本はやはり手洗いやアルコール消毒を行って読んでもらうということを機械の横に書いてもらって周知していただいた方が良いのではないかと思います。

**○橋本図書館長**

来館者には手指の消毒等をお願いしているところですが、より安心していただくためにこの機械を設置したいと考えています。

**○野口委員**

桜台の分館に行ったときに、小さな子どもを連れてお母さんが絵本をたくさん借りておられて、ご自身が消毒をお願いしますと言っておられました。そのようにして安心して本を持って帰られるんだなと思って見ていました。本館にも設置できたら良いと思います。

**○大下教育長**

他にありませんか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

**議案第 54 号 補正予算について（事業費補正）**

**○大下教育長**

議案第 54 号について、説明をお願いします。

**○庄司スポーツ振興課長**

議案第 54 号につきましては、補正予算、事業費補正についてです。

本件は総合体育館の多目的室及び会議室に網戸を設置するものです。本来であれば夏場は窓を閉め切って空調をかけているところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として窓を開けて換気をよくしていますので、害虫等の侵入を防ぐために網戸を設置するものです。

**○大下教育長**

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○植原教育長職務代理者**

これは補正予算が必要なのですか。指定管理者がすべきことではないのですか。

**○庄司スポーツ振興課長**

委託料の中では既に2階のトレーニングルームの網戸を設置してもらったり、大型扇風機を数台購入していただいたりと金額の少ないものをしてもらっています。本来指定管理の中

でも行っていただけることではあるのですが、臨時的なコロナウイルス対策ということで市の責任で補正予算をあげています。

○植原教育長職務代理者

国の補助金の対象にもなるので市が補正予算を組んでいるのですね。

○大下教育長

指定管理者に通常負担を求めることができる状況を超えて今回コロナウイルスというところに着目して市が予算化をするという理屈ですね。

他に何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。それでは原案のとおり承認することとします。

これ以降の議案は教科用図書の採択ですので、採択の関係者以外は退席願います。また、審議に入る前に準備等があるようですので、少しお待ちください。

**議案第 55 号 岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における令和 3 年度使用教科用図書の採択について**

○大下教育長

議案第 55 号について、説明をお願いします。

○倉垣学校教育課長

議案第 55 号につきましては、岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における令和 3 年度使用教科用図書の採択についてです。

本件は、岸和田市立産業高等学校全日制及び定時制で令和 3 年度に使用する教科用図書について教育委員会で採択いただくため、産業高等学校における教科用図書選定委員会の答申を上程するものです。

採択のご審議をいただくにあたり、産業高等学校の方から選定委員会の報告を説明いたします。

《《全日制》》

○齋藤産業高校全日制教務部長

今年度につきましては、デザインシステム科で使用教科書の変更が 1 冊あります。生徒の実態、教科の指導計画に沿って教科書の内容を検討しました。全員が理解しやすい表現が平易なもの。また昨今の進学者の増加にも対応できる内容のものを選定しました。

科目につきましては、空間構成技術です。こちらは建築工業、建築計画、建築施工等について広く勉強する学校設定科目となります。2 年生の選択科目です。従来使用の教科書「建築計画」は、住宅を設計するにあたって重要となる建築環境に関する内容が豊富であり、また数値も多く取り扱っているため実習の授業とリンクさせて有効に活用できることから選定されておりました。この科目では当初建築計画に重点を置いてきましたが、スペース分野に深く関わります設計並びに製図を行ううえで、建築構造に関する知識がより多く必要であるという判断に至っております。

現在の構成内容としましては、建築計画が全体の 2 割から 3 割、また構造が 4 割から 5 割を占めています。今回選定の建築構造は各種の建築構造につきまして、図面を描くのに先だって視覚的に理解ができるよう立体図やイラストを豊富に掲載しています。建築物の各部に求められる機能と使用材料を関連させ、法律や技術的規準に適合した安全な建築物をつくる

ための基礎的な事項、建築物、建築材料が環境に与える影響とその対策の基本的な事項をわかりやすく取り上げています。

また、同じく2年生で全員が履修します製図で使用している教科書との間で構造図の引用も多く行われており、科目間での連携が取りやすく総合的に学べるよう工夫されていることから選定いたしました。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

今の説明の中で生徒にとってどういう点が、こちらに変えた方が学びに良くなるのかというところをもう少し説明してください。

○齋藤産業高校全日制教務部長

科目の先生からは、視覚的な理解ができるように立体物の図やイラストが豊富に記載されているところというのが一番大きいと聞いています。

○野口委員

従前の教科書ですと文章で説明されているところが、図がたくさんあって生徒には分かりやすいということですね。わかりました。

○齋藤産業高校全日制教務部長

もう一つの科目の製図ともリンクできるようにというところで考えられています。

○植原教育長職務代理者

従前の教科書を使っている時も建築計画は2割から3割、構造が4割で変わらないのですか。

○齋藤産業高校全日制教務部長

従前と比較して、計画が全体の2割から3割、構造が4割から5割です。

○植原教育長職務代理者

今までの割合と一緒にですか。

○齋藤産業高校全日制教務部長

少し変わってきています。

○植原教育長職務代理者

変えたのはなぜですか。

○齋藤産業高校全日制教務部長

生徒のニーズに応じて変えています。設計、製図を行ううえで建築構造に関する知識がより多く必要であるという具合に生徒の実際の学習をみている中で判断されているということです。

○植原教育長職務代理者

だから来年度のカリキュラムを変えていこうとするのですね。それに合う教科書を選択したということですね。

○齋藤産業高校全日制教務部長

はい、そうです。

○大下教育長

ほかにありませんか。ないようですので、続きまして、定時制の課程における教科用図書の選定について説明をよろしくお願いします。

《定時制》

○杉本産業高校定時制教務主任

定時制課程におきましても、全日制と同様に教科書の選定委員会におきまして、令和3年度使用教科書を選定させていただきました。結論は変更無く次年度も今年度と同様の教科書を使用したいという結論に至りました。

○大下教育長

説明が終わりました。何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

それでは、今審議していただいた結果のとおり岸和田市立産業高等学校全日制、定時制の課程における令和3年度の使用教科用図書の採択を申請のとおり承認させていただきますがよろしいですか。

(教育委員 異議なし)

○大下教育長

それでは、原案のとおり承認いたします。

議案第56号 岸和田市立中学校における令和3年度使用教科用図書の採択について

○大下教育長

議案第56号について、説明をお願いします。

○倉垣学校教育課長

議案第56号につきましては、岸和田市立中学校における令和3年度使用教科用図書の採択についてです。

岸和田市立中学校における教科用図書の使用について、教育委員会で採択いただくため、教科用図書選定委員会の答申を上程するものです。

この度、学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市生徒の学習に最も適した教科用図書の採択に向け、慎重かつ公平な観点から調査・研究を行い、審議した結果として、教科用図書選定委員会より答申をいただきました。

答申を上程するにあたり調査研究を行ってまいりました経過についてですが、5月18日に第1回、第2回の選定委員会と調査員総会を開催しました。選定方針や調査研究の方法、日程等を確認し、調査員による調査研究を開始しました。6月1日からは教科書見本の学校回覧を行い、各中学校と中学校教育研究会における調査研究が始まりました。7月10日には、各調査研究結果が事務局に提出され、7月22日に、第3回、7月27日に第4回の選定委員会を開催し、調査員による調査研究報告と選定委員による答申のための協議を行いました。これらの過程を経て今回の答申をいただいております。

協議では、全ての教科書発行者において検討し、結果的に全者とも推薦をいただいておりますが、各者の特長をもとにメリハリある協議を通して特に岸和田市の子供達への学習に適しているものについてのご意見も出ております。

教育委員の皆さまには、調査員の調査研究報告及び各中学校と研究団体からの調査研究報

告並びに教科書センターに寄せられたご意見等もご覧いただいているところです。

このあと、種目ごとに1者の採択をいただくこととなります。ご審議のほどよろしく願います。

#### ○大下教育長

それでは、教科毎にそれぞれ議論を進めてまいりたいと思います。

まずは、種目国語につきまして、委員の方からご質問やご意見ございませんでしょうか。

#### ○谷口委員

小学校から中学校に入って大きくカリキュラム或いは体制が変わるということで、小学生が中学校に馴染んでいくためには、移行期といいますか中1ギャップという言葉もありますがスムーズにいけるということが国語に関わらず一つのポイントであると私は考えています。

調べていただいた教科書の中で、小学校6年生から中学校に進学するにあたりスムーズに移行できる教科書について選定委員の方で何かご意見が出ていませんでしたか。

#### ○村上学校教育課指導主事

調査員の報告によりますと、中学校1年生の4月、5月が一番中学校生活に戸惑う時期であり、この時期をいかにスムーズに中学校生活に馴染ませるかということが議論の中でもかなり大きいウェイトを占めていました。

各教科書会社ともに、初めの教材、2番目の教材、それぞれ調べたところ、字の大きさや行間等も小学校6年生から中学校1年生の実態に沿うような形であったと聞いています。ただそれぞれの読み物で少し難易度に差がありました。

#### ○野口委員

学力に課題のある岸和田の生徒達だと思いますので、まず一番基本の言葉、中学生にとって大切な言葉を確実に習得してもらって、そして使えるようになっていくために具体的に例えば語彙の数であるとか、使われている語彙が今の岸和田の生徒にとってどのような教科書がふさわしいという話は出ませんでしたか。

#### ○村上学校教育課指導主事

語彙を豊かにする指導の充実という観点でも調査員は調査していました。言葉の意味を理解しているというだけではなく、話や文章の中でいかに使うかというところや語感を磨いたり語彙の質を高めることが大切だという調査になっています。

それぞれの教科書会社においてページ数ですが東書は語句、語彙に関して扱うページは17ページ、漢字については77ページ。三省堂につきましては、語句、語彙に関しては36ページ、漢字については94ページ。教出においては語句、語彙に関しては12ページ、漢字については83ページ。光村に関しましては、語句、語彙に関しては18ページ、漢字については91ページというような調査結果でありました。

#### ○谷口委員

中学校では古典が入ってきます。最初に入る古典というところで読ませていただいて、私自身の感想では非常にシンプルに三省堂の教科書が分かりやすいのではないかと感じました。そういった点で調査員の意見はどうでしたか。

#### ○村上学校教育課指導主事

小学校時代に取り扱うことのない古典教材について、中学校で苦手意識が出るという調査員の意見がありました。調査員の方でも三省堂の一番初めに「月を思う心」というところで昔のことについて月の異名であったり、そういうものを紹介している。そして当時の人のものの見方、感じ方を紹介している、非常にシンプルな作りであるという意見は出ていました。

#### ○大下教育長

今回のコロナを機にGIGAスクール構想も前倒しで整備をされまして、これからインターネットを活用した授業の進行、子ども達の学習が重要になりますが、国語の教科書に関してはその点に対する対応で各出版社の特徴があれば教えてください。

#### ○村上学校教育課指導主事

各4者ともデジタルコンテンツを多数準備していました。古文の朗読であったり、物語の朗読、古典文法の問題、それぞれ趣向を凝らしたものが多数ありました。ただどの出版社が秀でていて、どの出版社が劣っているといった調査報告は出ていませんでした。

#### ○植原委員

人権に関して、発達障害や特別支援が必要な子ども達に対して各出版社の特徴はどうか。

#### ○村上学校教育課指導主事

使用しているフォントについても、各4者ともユニバーサルデザインフォントというもの、そして色についてもカラーユニバーサルデザインを用いていて、そのあたりについては色覚に特性のある子どもについてもしっかりと学習できるという調査結果でありました。

取り扱っている教材については人権的な観点からみても問題のないものであったと聞いています。

#### ○野口委員

検定を受けた教科書ですので、これが飛び抜けてどうということはないと思うのですが、例えば中学生くらいになるとやはり言葉の力をつけるためにも文法の力をつけて欲しいと思います。これを見る限りには、分かりやすく記載されているものと、ちょっと難しく中学生には厳しいものがあるのかなと思うものがありました。正直に言いまして東京書籍の文法については非常に難しいなど、岸和田の生徒達にとってこれは嫌という反応が起きないかという心配を持ちました。それに比べると例えば三省堂の説明は非常にシンプルで分かりやすく、言葉の基本的な主語があり述語があり、そこに修飾語がありといったそういったことをしっかりと身につけることができるような本になっているのではという感想を持っています。

#### ○谷口委員

私も東書と教出も難解な教材が多いかなと感じました。

#### ○大下教育長

他にご意見はありませんか。総括しますと基本的に皆さん学習指導要領に則った教科書ということで、全て結構なものですが、例えば小学校から中学校への移行がスムーズにできるか、デジタル教材の取り扱い方等については、それぞれ大きな違いはないということです。一方語彙の取り上げ方について或いは古典の導入の問題、更には岸和田の子ども達の学習状況にあわせた文法の取り上げ方については、全体的にみますと三省堂の教科用図書が優れて

いるのではないかというご意見であったと思います。それでは、国語は三省堂ということで承認いただけますでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは、そのようにさせていただきます。

**○大下教育長**

続きまして、書写の審議に入ります。委員の方からご質問やご意見ございませんでしょうか。

**○野口委員**

教科書の大きさが違うものもありますし、本の示し方も少し違っているように思います。生徒達にとって扱いやすい手本や教科書ということでは、どのようなご意見が出ていたでしょうか。

**○村上学校教育課指導主事**

教科書の大きさですが、調査員の調査によりますと、やはり少しでも大きいサイズの方が子ども達は分かりやすいのではないかという調査結果でした。また、中に掲載されています手本ですがこれに関しても、半紙の原寸大の手本が多い方が子ども達が正しい字を早く書くということを身につけられるのではないかという調査結果でした。

**○谷口委員**

ということは半紙の原寸大の手本がたくさんある教科書はどの出版社ですか。

**○村上学校教育課指導主事**

原寸大の手本に関しましては、一番多いのは光村、二番目に多いのは教出でした。その他の半紙用の手本も入れますと一番手本の数が多いのは教出という結果になっています。

**○谷口委員**

繰り返し同じ質問になりますが、今まで東京書籍の書写を使用していましたが、今回に関しては手本でいけば東書は少ないということで理解して良いですか。

**○村上学校教育課指導主事**

その通りです。

**○植原教育長職務代理者**

今の話を聞いていまして、原寸大の手本がある方が良いとなると絞られてきますよね。その中で調査の答申を見ますと生活と密着している点、学習を生かして書いている点、実生活で生きる学びのページが充実している。これを見ていると教出の書写が使いやすいのではないかと、やはり字というのは実生活、生活に密着することで大きな効果があるのではないかと私は感じました。生活に密着という点では調査員の意見はどうですか。

**○村上学校教育課指導主事**

学んだ字をいかに実生活で書くかというところも特に中学校3年生においては重要であるという調査員の話がありました。その中でやはり3年生になりますと入学願書を書く、そして志望理由を書く、そのような機会が多くなります。入学願書の書き方、志望理由の書き方その他生活に密着するような字の使い方においては教育出版の方が用例が一番多く掲載されているという調査結果でした。

### ○大下教育長

委員のご意見や事務局の説明によりますと、基本的に原寸大の手本数の多さであるとか、或いは入学願書等生徒が身近に体験する生活上の役割、そういう意味でも非常に役に立つのではないかということで、比較的教出という意見が強いのですが、国語科との関わり、国語の教科書と書写の教科書を同じ出版社にあわせる必要があるのかないのかその点についてはいかがですか。

### ○村上学校教育課指導主事

どの教科書会社におきましても中に載っている国語との関連教材はあります。例えば「走れメロス」であったり、「枕草子」であったりというのは掲載されています。これについてはどの出版社においても国語の教科書でも取り扱っていますので、そういった面での不具合はないという意見でした。

### ○植原教育長職務代理者

小学校との流れに関してはどのような意見がありましたか。

### ○村上学校教育課指導主事

小学校との接続のところではどの教科書会社においても、かなりのページ数を割いていました。高等学校に進学した際には芸術科の書道という形になります。これも見通した中国の有名な書家の作品等が多数盛り込まれていました。どの出版社においても充実したものでありました。

### ○大下教育長

手本を中心とした生徒にとっての使いやすさであるとか或いは実用的な部分に関して教出の方が優れているという判断の基に書写については教育出版ということでよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは書写は教育出版ということで採択したいと思います。

### ○大下教育長

続いて社会科の地理的分野の審議に入ります。委員の方からご質問やご意見ございませんでしょうか。

### ○谷口委員

近年非常に自然災害が多発するようになりまして、先般も最上川で大雨が降ったということで、そういう気候について詳しく分かりやすく触れている教科書があるといったような調査員の意見は出ませんでしたか。

### ○池本人権教育課指導主事

調査員の中ではどの教科書も防災について取り上げているといった話になっていました。特に日文は防災教育を取り上げているページ数が多いと話しておりました。東書の中では各日本の地方の導入のところにアメダス、雨温図のグラフもあるのですが、それが一番見やすいといった意見はありました。

### ○植原教育長職務代理者

社会科の地理に関して1年生の段階であればユニバーサルデザイン、例えばフラットな部分、立体的な部分、吹き出しの部分等の構成具合や使い方は各社どうでしたか。

○池本人権教育課指導主事

調査員の話の中では、東書がフラットデザインを採用しているという話になっていました。後はグラフの枠組み等が色を灰色にしていたり、折れ線グラフの線種を変更しているといった配慮もされている発行者もありました。

○植原教育長職務代理者

色覚に関してはどうでしたか。

○池本人権教育課指導主事

色覚に関しましては、カラーユニバーサルデザインをどの教科書会社も採り入れていたと聞いています。

○野口委員

今言われている対話的で深い学びという中で、地理の場合はいろいろな資料を生徒達がお互いに見ながらいろいろな課題について話し合うということが、ある意味行いやすい教科ではないかなと思うのですが、そういう意味で資料の提示が多い、或いは的確であるのはこの教科書であるといった意見はなかったでしょうか。

○池本人権教育課指導主事

どの教科書会社もコラムについて取り上げているページ、話し合い活動について取り上げているページ、資料活用について取り上げているページは十分な量があったのですが、ページ数調査で資料活用に関して言いますと、東書が多くて資料活用の中から対話的な問い等を教師が考えるのかなという話になっていました。

○谷口委員

世界と日本の関係で起こっている領土問題に関しての記載はどのようになっているでしょうか。

○池本人権教育課指導主事

どの教科書会社も領土問題について取り上げていました。特に尖閣諸島、竹島、北方領土については4者とも記載がありました。東書はビザなし交流の記載はありませんが北方領土の美しさについて取り上げていました。教出、帝国、日文に関しては、ビザなし交流といった記載があったり、教出では帰属が未定な領土についての説明がありました。どの教科書会社も取り上げているのですが説明のところが違うといった意見、帰属の説明の有無等が調査員の話でありました。

○植原教育長職務代理者

デジタルコンテンツの活用やQRコードの活用はどれが行いやすいでしょうか。

○池本人権教育課指導主事

どの教科書もデジタルコンテンツは豊富でありましたが、調査員の話としまして各社の特徴は、東書は巻頭の方で目次の中で見ることができるのに加え、ページの中でもQRコードがある中でその関連する二分野、歴史と公民の分野にリンクできる。例えば領土のところでは、地理の観点からの領土、そこからQRコードで歴史の領土、紙面構成が同じようになっていますので、分かりやすいのではないかと話になっていました。帝国はQRコードが多いという印象を調査員が持っていました。教出はQRコードはあるのですが、同じようなQRコードがある形でした。日文もあるのですが、若干少ないのかなという話になっていま

した。

#### ○植原教育長職務代理者

学習指導要領をみていくと、例えば地理の分野を学習するには、昔のパイ型、歴史を兼ね合いながら広がりを持たして現代的課題に迫るということでしたら、先ほどのデジタルコンテンツの考え方から言えば東書でしょうか。

#### ○野口委員

対話したり話あったりというところにしっかりと地理の中で行って欲しいと思う中で、私の感想としては東書の最後の単元の振り返りであるとか、まとめのところをただまとめるだけでなくお互いに対話ができるような内容になっているのは東書の特徴なのかと思いました。

#### ○大下教育長

今出ましたような資料活用から対話的な活動につなげられる点、或いはデジタルの関係で巻頭で目次、ページでもQRコードがあり他の社会の分野に関連付けて見られるというところに優位性があるということで概ね東書がふさわしいのではないかというご意見であったと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは社会の地理的分野については東京書籍ということで決めたいと思います。

#### ○大下教育長

続きまして地図は2者ありますが、委員の方からご質問やご意見ございませんでしょうか。

#### ○野口委員

まず大きな違いはサイズですが、サイズについてはいかがでしょうか。

#### ○池本人権教育課指導主事

調査員の話の中でも一番話題にあがったのはこの大判化です。現行のものよりも少し小さくなっていて他の教科書との違い、見つけやすいし扱いやすいということです。持ち運びにもそれほど大きいからといって苦労はしないし中身についても、俯瞰している範囲が広いので非常に見やすいという話になっていました。

#### ○谷口委員

今、地理が東書の教科書になりました。地図との関連は大きいですが同じ発行者にという意見はありませんでしたか。

#### ○池本人権教育課指導主事

調査員の中では地理の教科書と地図帳が同じ発行者にということは、話題にはあがりませんでした。

#### ○谷口委員

地図に関しては先ほども言いました領土問題の尖閣諸島や竹島等の表記の仕方が帝国は全体の中のこの位置なのだということが分かりやすいと思っていました。東書の方は枠で表記しているので距離感が分かりにくい。そういう意味ではインパクトが薄いのかなと感じましたが調査員の方はどうでしたか。

#### ○池本人権教育課指導主事

特に領土問題を取り上げているページが東書に1ページ、帝国に1ページあるなという話

はありましたが、見やすさの話で言いますと全体的に帝国が見やすいなという印象でした。領土問題についてはそのような話にはなっていませんでした。

#### ○谷口委員

地図というのは位置的な関係だけでなく、その地域の資料としての意味もあると思うのですが、掲載されている資料に関しては調査員は何か言われていませんか。

#### ○池本人権教育課指導主事

資料に関してもどちらも十分に掲載されているという話でした。適切な量とすると帝国の方がシンプルで使いやすいという話にはなっていませんでした。

#### ○大下教育長

資料は帝国がシンプルで良いというのは例えばどこか、個別に指摘していただけますか。

#### ○池本人権教育課指導主事

調査員の中では東書の方がとても資料が多いという話がありました。その資料の多さが子ども達にとっては逆に見にくいのではないかという話にはなっていませんでした。

#### ○野口委員

東書の地図を見ていて良いと思ったのは、資料がたくさんあり写真が提示されていて、その写真一つひとつに地図の何ページであるかが書かれている。これはとても地図帳としてありがたいと思いました。そういう点では東書にも優れたところがたくさんあると思うのですが、ぱっと見た時にやはりこの大きさ、文字の置き方、そういったことを考えると、生徒達には大きい帝国の方が短時間で自分の必要な資料を得ることができ、的確にみることでいいのではないかという感想を持ちました。

#### ○大下教育長

二点ありまして、一つは理解力の一定ついている子どもにとっては資料数が多い、参照する情報が多い方がより学習が進むということですが、その点が逆にマイナスに働くというのは岸和田の地域性と言いますか、子ども達の関係で調査員としてはどういう判断をしたかを聞きたいのが一点。

それから大判ということですが子ども達の机の広さは限られていますので、それが学習するうえで逆に作用しないかという懸念がありますが、その点についてはいかがか。その二点について教えてください。

#### ○池本人権教育課指導主事

確かに資料が多い方が非常に活用しやすいという意見も出ていましたが、あくまでも地図帳としての活用の仕方が岸和田の子ども達にはふさわしいのかなという話にもなっていました。

大判については机の大きさもあると思いますが、そのあたりの話は調査員の中からは出ておりません。

#### ○谷口委員

日本は地震大国でもありますが、地震、災害についての捉え方について2者の地図を見ましたところ、私の感想としては帝国の書いている、いろいろなプレートの中で地震が起きているという形の表示の仕方が非常に理解しやすい。また色的にも東書の方は少しイラスト的なところがあって、危機感、地震の怖さというのがあまり感じないような表記に私は感じ

ましたが、そのあたり調査員は何か意見がありましたか。

**○池本人権教育課指導主事**

防災について取り上げているページ数は帝国の方が多という話と帝国の方は各地方のページで地方特有の災害に関する講評があり地域的特色を捉えやすいのかなという話と東書の方は火山と地震の分布だけでなく津波避難エリアであるとか避難場所マップ等も書かれているといった話にはなっていました。

**○大下教育長**

他にご意見はございませんでしょうか。情報量として充実しているという長所と地図としての見やすさ、子ども達が一見してというところがあって、概ね教育委員の意見としては基本的に子ども達が見た時に地図帳として活用しやすい、分かりやすいという点で帝国がやや勝っているのではないかというご意見が多かったように思います。地図については帝国を採用するというで委員の皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは、地図は帝国書院にさせていただきます。

**○大下教育長**

次に社会の歴史的分野の審議に入ります。各委員の方からご質問やご意見ございませんでしょうか。

**○谷口委員**

ここ数年のように災害が起こってくると防災のこと、過去にも百年に一度というような報道がされますが、過去に日本はいろいろな災害を経験しています。その時にどういうふうなことになって、どういうふうな対処をしてどうなったのかということを知っておくことは、歴史を知るうえで非常に大事な事だと思います。こういった記載について各教科書はどうであったのかを教えてください。

**○関口学校教育課指導主事**

調査員の報告の中で防災、安全教育についてもさまざま話が出ていました。例えば東書、教出、帝国、日文においては阪神大震災や東北の大震災以外にもいろいろな題材を用いて紹介をされていました。その中でも東書については震災の記憶を語り継ぐというページがありまして、そこから先人の教訓、それをしっかりと紹介されたうえで実践できることは何かということを考えさせるような工夫がなされていて非常に効果的ではないかというような話がでておりました。

**○植原教育長職務代理者**

中学校の歴史というのは一番人権に関わる根本的な歴史的過程をおさえる必要がある。例えば全国水平社、琉球、アイヌの問題、そういう人権に関わるこだわりといいますか、それに関して歴史の根本になっていきますが、各社の扱い方はどのようでしたか。

**○関口学校教育課指導主事**

調査員報告の中では、全国水平社については特に議論がなされていませんでしたが、アイヌについてはページ数調査の報告で調査をしています。ページ数としては少し差はありますが、内容的にはどの者もアイヌの人々についてはしっかりと取り上げられていたという話でした。

○植原教育長職務代理者

琉球の歴史はどうでしたか。

○関口学校教育課指導主事

琉球の歴史も特に取り上げて調査というところには至っていませんでしたが、どの者も琉球王朝についての記載があったという話がありました。

○谷口委員

世界史と日本史を関連付けながら分かりやすく書いている教科書はどういったものという意見があったでしょうか。

○関口学校教育課指導主事

調査員もやはり世界の歴史の中の日本の歴史という位置づけをしっかりと子ども達に教えていきたいという観点を持たれて話をされていました。どの者も年表であったり本文中にしっかりと記載はされているのですが、特に東書の章の最初にある大きな年表の中に日本で起こった事柄、世界の動き、そして時代区分、そこに小学校で既に習っている人物や出来事、そういったところを太字で書かれたり、少しイラストが入ってイメージしやすいような工夫をされているこの年表がとても使いやすそうであると、子ども達の興味、関心を引くのではないかという話をされていました。

○植原教育長職務代理者

小学校6年生で歴史を学びますよね、そして中学校2年生で学ぶ、その流れの中での関連性については、どのような話が出ていましたか。

○関口学校教育課指導主事

小学校との関連性というところでは、ぱっと見てすぐに関連性が分かる工夫をしている教科書という観点で調査員が調べた点ですが、東書、教出、帝国、日文では、それぞれ者によってオリジナルのマークであったり、文章の表記でここは小学校で既習ですというような印を付けて工夫されているといった報告を受けています。

○大下教育長

中学校レベルで求めるのはいかがかとは思いますが、歴史については単に暗記するというのではなく、なぜそういうことが起こったのか、そういう史実に関していろいろな考え方を対話的に進めることが非常に有効だと思うのですが、その点から各教科書をみた場合に、何か違いや特色はありましたか。

○関口学校教育課指導主事

それぞれの者でいろいろな工夫がされている中で多面的、多角的な視点で歴史をみていくという工夫についての調査の話が出ていました。多角的にというところで、調査員は特に一つの出来事に絞って、日露戦争というところに視点を置いてどのように書かれているか、いろいろな戦争を支持する声であったり、それに反する声であったりといったところがしっかり書かれているかということも調査をしていました。どの者もいろいろな意見を載せて子ども達にそれを考えさせるような工夫がされていたという報告を受けています。

○野口委員

小学校でも歴史を学び、それをベースにして中学校の歴史があると思うのですが、そういう意味では、歴史をある意味、科学として学んでいくという姿勢が必要では無いかと思いま

す。様々な事実の資料をきちんと載せてもらいたいという点では、小学校のような想像図よりも、その時代に描かれたもの、写真が残っているのは一定の時代以降ですが、歴史的な事物などをたくさん提示して歴史を科学として積み重ねてってもらいたいと思うのですが、そういう意味で資料的にはいかがでしょうか。

#### ○関口学校教育課指導主事

資料については、どの教科書も非常にしっかりといろいろな資料をたくさん載せているということでしたが、特にその中で、子ども達が見やすく、興味を持って、という工夫がされているという話が挙がっていたのは、東書の資料がよいのではないかということでした。本文の中の文言と資料に関連付ける番号が振られてあり、これは他の者も工夫をされているのですが、東書は青色で色が付いている数字でとてもは分かりやすいのではないかという話がありました。

あとは日文がとても資料が多く総ページ数も少し多いという話でしたが、資料の数が非常に多くて子ども達の興味を引くだろうという話がありました。

#### ○野口委員

東書の教科書は、例えば領土の問題であれば千島樺太交換条約の中身まで踏み込んで、他の者もあるのですが、東書の取り上げ方というのは、単に北方領土の問題を江戸時代の江戸幕府とロシアとの関係から取り上げていっているというのは、子ども達がより深く学ぶ上では、良いのではないかと思いました。

#### ○大下教育長

先ほど対話的で、深い学びをする上で、例えば日露戦争については様々な見方、評価があるということをもどの者も多く紹介をされているということですが、いろいろな事を提示し過ぎると逆に 進まないと思います。全体的に教員が授業を進めていくうえで、子ども達も自ら考えてみよう、話し合ってみようということを投げかける時にどういう工夫がされているのか、特色のある教科書について知りたいと思います。

#### ○関口学校教育課指導主事

話し合い活動や学びを深めるための活動というところで、調査員の中でとても評価が高かったのは東書です。単元のまとめや時代時代の振り返りのところで、最終課題というところが一番最初に出てきて、それを最終のステップでその課題について考えていくという道筋が、教科書を見るとイラストも付けられて、あとはキャラクターを少し使って子ども達が見やすく興味を持つような工夫もされつつそれに従って進めていくと考えをまとめやすい、自分の考えを発表しやすいというような工夫がなされているという話が出ていました。

#### ○谷口委員

日文と帝国の教科書だけが、全てのページに今、学んでいるページは全体の歴史の中でどのポジションであるかが書かれていてこれは非常におもしろいという感じはしました。また、日文は小学校との関連が分かりやすいのですが、情報が多すぎるという裏腹の関係にあるという感想です。その点について調査員の意見はありますか。

#### ○関口学校教育課指導主事

各ページの右端のところに時代区分、今この時代を勉強しているということを示しているのは非常におもしろい工夫であるとの話は出ていました。また、教出の本文の中の見出し

の上に同じように時代区分を付けているというような工夫も非常におもしろいという話も出ていました。ただ、ぱっと見た時にあまり細かい字がたくさんあると見にくい子ども達もいるのではないかという意見も反対に出ていました。

#### ○大下教育長

それぞれ各社工夫を凝らして、子ども達にわかりやすい教科書をとということで理解をしていますが、全体のご意見をお伺いしますと、例えば防災、安全に関して先人の教訓から具体的な行動を学ばせる点、或いは世界史と日本史との対比においては、章の最初に対比をさせて、まず全体像を掴ませたうえで年表についても小学校で習ったものについては太字を使うなどの工夫を凝らしている点、更に北方領土に関しては、単に現在の事実だけでなく江戸時代に遡って歴史との中で十分に考えさせるという工夫がされている点、更には対話的で深い学びに関しても単元のまとめで振り返りというところを設けている点等を総合的に勘案すると、教育委員会の中では東書がふさわしいのではないかというご意見が多かったと考えますので、社会の歴史的分野については東京書籍ということで委員の皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは社会の歴史的分野については東京書籍を採択させていただきます。

#### ○大下教育長

続いて公民的分野の審議に移ります。ご意見がありましたらお願いします。

#### ○谷口委員

社会の場合は、先ほど決定した地理、地図、歴史といろいろありますが、公民は少しテストが違うと感ずるのですが、同じ出版社の教科書とした方が使いやすいといった意見は調査員から出ませんでしたか。それとも今まで採択された三つの出版社以外のところでも構わない、その方が使いやすいといった意見はありませんでしたか。

#### ○永井学校教育課指導主事

特に調査員の中では、地理歴史と公民が違っても特に問題ないのではないかという話は出ていました。

#### ○植原教育長職務代理者

公民というのは、地理的分野、歴史的分野とみて、その中で現代的な課題をきっちりと把握して考えさせないといけませんよね、例えばユニバーサルデザインやインクルージョンやダイバーシティやLGBTの問題といった現代的課題で中学校の段階で押さえていきますが、それについての記述、現代的課題を子ども達が主体的に考えるような記述は各者かなりありましたか。

#### ○永井学校教育課指導主事

人権やダイバーシティに関しては、調査員の中でも話は出ていました。基本的に全者とも学習指導要領にのっとって現代的な課題を子ども達がしっかりと主体的に考えることができるような内容になっているという話がありました。特に東書でありますと、最初の方では多文化共生の中で共生を実現するために私たちは何を求められるかといったところで、調査員がこれは珍しいと言ったのは、関西空港にある祈祷室の写真の題材であったり、男女平等のところでは渋谷区のパートナーシップ証明書のことであったり、インクルージョンについて

子ども達に考えさせたり、特設ページで性の意識の違いによる差別をなくし違いを認め合うことに関する題材であったり、教室であれば同じように中学校の制服のパンフレットに女子生徒もスラックスの制服を選べるようになった、そういう写真が載せてあったり、同じLGBTに関する特設のページもありました。帝国も未来に向けてというコラムで外国人とともに生きる社会、子どもと高齢者が一緒に過ごす写真などがあつたり、日文であれば男女共同参画社会基本法、LGBT、障害者差別解消法、明日に向かってまちのバリアフリーを探すというところでは、堺市のソフィア堺の写真を載せて、実際に点字を指で触って、というページもあります。日文に関しては女性の働く環境、このあたりは日文が特徴的であるという話が出ていました。他にも東京オリンピック・パラリンピックの特設ページであったり、自由社であれば特設ページで権利や平等に関する問題、部落差別問題であったりヘイトスピーチのこと、新しい権利として知る権利、プライバシーの権利などです。育鵬社であれば特設ページで在日外国人との共生、部落差別、アイヌに関する事等そのようなことを各者とも特設ページを使った記述があるとの報告がありました。

#### ○植原教育長職務代理者

その中でどこが現代的課題をテーマとした時に考えやすいですか。例えば学習指導要領をみていくと、これに関してどう思うかというのは昔の授業ですが、このことに関して、どのようなものであって、何をテーマにしてとテーマまで考えさせていく。それで気になるから一度調べてみよう、地域で対話しよう、家で対話しよう、そして学びを深めて課題を解決していこうというのが、簡単に言えば新しい学習指導要領の考え方です。主体的な学び、対話的な学び、深い学びの視点や人権の視点から使いやすいと言った意見は出ましたか。公民はそこがとても重要だと思います。

#### ○永井学校教育課指導主事

いろいろなコラムがあつて、文章を読み込んでいくと非常に内容が深いものがたくさんあつた中で、子ども達の興味を引きそうなのは、日文の触って点字を確かめるようなものが、印象深く話に出ていました。

#### ○谷口委員

公民的分野は歴史や地理と比べてストーリー性がどちらかと言えば薄く感じます。どうしても取っかかりが堅いと言いますか、権利や義務のように法的なものなどが絡んできますので、少し堅い感じがしますので、勉強するにあたり最初の部分が柔らかくて、読んでみようというような感じになっている教科書という観点では何か意見が出ていましたか。

#### ○永井学校教育課指導主事

そのような調査は非常にたくさん話が行われていました。難しい課題が多い中でいかに子ども達に分かりやすい導入で入っていったって授業を進めていくかということに各者が非常に工夫されているものが多かったです。導入部分でイラストを用いて身近な生活をテーマに即したところから、その単元の一貫したテーマを子ども達に考えさせるというものが多くの者で準備されています。

その中でも東書であれば各章の導入部分にイラストを用いて、章を貫いた課題というものをしっかりと示しています。教出であればSDGs（エスディージーズ）をテーマに取り上げていまして、導入でそこから子ども達に課題を提示する。また生徒の興味関心を高めるよ

うなキャラクターの言葉を載せています。帝国に関しては、各章の導入の初めに、「学習の前に」を設けてイラストを用いて社会生活を鳥瞰した図を示して、そこから違いを発見させて子ども達に課題意識を持たせています。日文も同じように「学習の初めに」というところで、身近な場面から少し漫画のようなもので子ども達に学習内容の見方や考え方を示してスタートする、特に日文では、全て教科書前段において抽象的な事象を、具体的にイメージする図が豊富に掲載されているということで、非常に分かりやすいのではないかという意見がありました。自由社では章の初めに「問い」が記載されていて、この問いから課題を解決していくことを通して個人と社会とのかかわりを理解していく、そういうスタートになっています。育鵬社は、章の初めで重要語句を示して、その章で何を学ぶかを示しています。章ごとに設定されている「〇〇の入り口」で関心を高めるような工夫がなされています。

#### ○大下教育長

公民的分野というものは、ともすれば文字で書き連ねたことを理解するのは、中学生レベルでは難しいですね。例えば自由権と社会権の違いは何であるかとか、歴史的な経緯も含めて理解しないと分からないし、また今こういう生活が非常に厳しくなる中で国や自治体がどういう社会保障を、どういう考え方を基に展開しているのかということも含めて、単に条文でその物事を機械的に理解するのではなく、身近なものとして捉えられるような工夫がされていると思いますが、各教科書そういう難しい概念、抽象的な概念、難解な用語を子ども達に分かりやすく理解させるうえでどういう工夫がされていますか

#### ○永井学校教育課指導主事

特に各者イラストや漫画のようなもの、また帝国などは大きな写真を載せて示したりすることも多かったと聞いています。日文では、できるだけ最初の導入の方で、抽象的なことを子ども達に分かりやすく伝えるために漫画を使って示したりしています。例えば日文なら 38 ページが一つの例として調査員から話がありました。

#### ○野口委員

公民的分野の中には、今の社会に通ずるものがあると思いますので、考え方によって教科書の中では、バランスの違いはあるという感じがしました。岸和田の子ども達にとっては、バランスのとれた教科書を使っていきたいと思ったのですが、その中で社会の仕組みであるとか、決まり事であるとかを自分の事として捉えることができる、理解することができるのに扱いやすい教科書はどのような教科書かという話はありませんでしたか。

#### ○永井学校教育課指導主事

基本的にSDGsに17の目標があるので、この現代的な課題というものを中心に、基本的にバランスを見て学習していくことが良いだろうと、その中で岸和田の子ども達にできるだけ学習課題のある中でできるだけ分かりやすい、そういった物が適しているのではないかという話は出ていました。

#### ○野口委員

例えば日文の26、27ページのあたりで実際に生徒が自分達の問題として話し合うということ「アクティビティ」という欄で経験させたりすることで、それが今の政治にもつながっているというところが、とても分かりやすいという印象を持っています。権利のことについても、とてもシンプルに自由に生きる権利、等しく生きる権利と、とてもシンプルな言葉

で、それが何かということを表題に示しているということも本当に分かりやすいと感じています。

#### ○谷口委員

若者の政治離れと言われて久しいですが、政治参加という観点において、帝国の「私たちが決めるこれからの政治」という欄が非常によく書けていると思いました。日文も東書も政治参加について書いていますが、そういったところで調査員の中で関連する意見はありませんでしたか。

#### ○永井学校教育課指導主事

18歳にむけてというところで言いますと、各者工夫を凝らしています。例えば東書であれば18歳へのステップ、選挙の流れ、契約のあれこれや、18歳選挙と私達。帝国は今お話しにあったように選挙や少年議会の事。日文も「15歳は「子ども」？それとも「大人」？」そういうイラストであったり、各者18歳に向けてということで、コラム等で扱われているという報告がありました。

#### ○植原教育長職務代理者

今、三者の構成をみましたが、日文は政治の学習、経済の学習、国際の学習をし、レポート作成と課題で5編とっています。帝国が章、節の見通しを立てて、最後に振り返り。東書は探求学習に重点を置いています。主体か探求か学びの深めか、三つのどれをとるか、岸和田の子ども達にはどれが合うか、教科書構成から言えば、社会科の公民的分野の子ども達の力を考えた場合、現代的な課題を主体的に解決していく方がより効果が上がるのか、探求的学習で表現力を上げるのがよいのか、そういう捉え方なのが東京書籍ですね。帝国は主体的な学びを深めていく、最後に振り返りを持ってきて基礎基本に重点を置く。レポートは表現力、文章力というところで考えさせるのは日文。そのための流れの中で教科書作成をしている。本市の子ども達にはどれが合うのか、力をつけられるのか、それぞれ特色がありますが比べて見た時にどうか、そういう意見は出ていませんでしたか。入試を考えれば易しい言葉は、子ども達はとっつきやすいかもしれませんが、対応しきれない部分が出てきます。

#### ○永井学校教育課指導主事

調査員の中で出ていたのは、導入部分で、子ども達が興味・関心を示さないような状態になると主体的で深い学びにつながらない可能性もあるので、最初は易しい形で入っていく方が岸和田の子ども達にあっているのではないかという話でした。

#### ○大下教育長

繰り返しの質問になりますが、公民というのは非常に入り方が難しい、子ども達も学び方が難しいですし、場合によっては答えがないかもしれません。そのような中で今の岸和田の子ども達にとって公民の学習を進める上で、どういう点が教員が授業を進めるにあたってポイントになるのか。その際に各教科書を見た場合に、どういう点に特色があるのかということをも、もし議論されていれば教えてください。

#### ○永井学校教育課指導主事

調査員の中で出ていた話は、子ども達が自分事として課題について考えていける、その様なものが良いのではないかと、いかに分かりやすく、ぱっと教科書を開いた時に何を学んでいくのかということが分かるものが良いのではないかと話がよく出ていました。

## ○大下教育長

そういう観点で各教科書を見比べた場合、何か特色或いはこの点が秀でていた点はありませんでしょうか。

## ○永井学校教育課指導主事

今お話しがあった東書はとても資料も充実していて、アカデミックで内容がとても深いものだという意見がありました。各者工夫を凝らして、イラスト等を用いたりしている中で、帝国も導入のところで俯瞰図があり、これは非常に良いものだという意見もありました。日文は最初の入りのところで、柔らかくて子ども達が入っていきやすい、ぱっと見た形で何を学んでいくかということが分かるので、導入としては最適だという話が出ていました。

## ○野口委員

地理や歴史は、地理的な事実、歴史的な事実を科学的に捉えることで、とても客観的な捉え方が必要な学習ではないかと思うところで、公民の場合は、とてもとっつきにくいけれども、実は非常に子ども達自身の自分のことに関わってくる教科であるということで、それぞれの分野の特徴があるので、公民の現代社会の中で生きる自分にとって学んでいくことが必要な事というふうに捉えた時に、子ども達が学びやすい教科書、自分のこととして捉えやすい教科書であってほしいと思います。入試のことなどはよく分かりませんが、入試を目的に学習する訳ではないので、学びということで考えた時に子ども達にとって相応しい教科書を選んであげたいと思います。

## ○谷口委員

私も、見ずに食べず嫌いになる恐れがあるので、漫画であっても見て理解しやすいな、そういうことなのか、或いは自分の身の回りの岸和田城が写っていれば、とても見る気がするのと同様に、少なくとも全然知らない外国の写真ばかり見ていると景色のように見てしまうところがあるので、身近に感じられるようなコンテンツ、漫画もそうですが、非常にとっつきやすい形が良いのではないのでしょうか。岸和田の子ども達が読んでみよう、見てみようという教科書というのが相応しいのではないかと考えます。これは感想です。

## ○植原教育長職務代理者

私は公民的分野は現代的な課題を自分で考えて、そして解く場面だと思っています。今の社会やそういうものを中学3年生の段階でしっかりと考えて次の未来に向かって、そういう時間の提供だと考えています。そして表現力を養い自分の思いを伝えられる力、課題を解決する力を中学3年生の時期に培っていくことが大事だと思います。

## ○野口委員

例えば日文のアクティビティのところ、様々な問題を自分達で自分達の問題として捉えさせて、しっかりとお互いに意見交換できるような内容がそれぞれの単元の最後に設定されているのではないかと思います。

## ○植原教育長職務代理者

公民的分野でこれだけ考えているのは、この公民の授業が終わると社会に出ます。義務教育最後の年です、そのための公民です。とっつきやすい、とっつきにくいというご意見がありましたが、現在使われている言葉からいろいろな事を考えていくことができるような教科書が大事だと思います。

### ○大下教育長

植原教育長職務代理人からは、そういう言葉の問題も含めて、中学校卒業の段階で社会へ出ていく子ども達もいますので、難しいものであってもしっかりと理解させることが必要であるというご意見であったと思います。その点に関しては、各教科書とも必要な基礎的用語についてはしっかりと学べるような体制は組まれているのでしょうか。

### ○永井学校教育課指導主事

はい、それは各者主体的、対話的な学びの部分でも、当然全ての者が深い学びができるよう組まれています。

### ○大下教育長

それぞれかなり意見が出ましたが、なかなかこの分野に関しては、それぞれ甲乙付け難い点をお持ちという理解をしました。ただいくつか出ましたように抽象概念を子ども達ができるだけ 分かりやすく、まず全体像として理解をしてもらうということ。さらにはアクティビティという形で実際に章の最後には議論をしてもらう、対話的な学びをしてもらうということに関して、日本文教出版の教科書が、ややその点においては特色があるのではないかという意見であったかと思いますがいかがでしょうか。

### ○谷口委員

植原教育長職務代理人が言われたように、卒業して社会にでる子ども達がいる。ただ多くの子ども達が見る前から食わず嫌いにならずに見ていくということから考えて、やはりとっつきやすいところ、今言われている日文の四コマ漫画のようなものがあって、初めはふざけているように感じましたが読んでみると内容は非常によく理解できるようになっているところを考えると、とっつきがいいのかと私自身は考えています。

### ○大下教育長

結論としては、公的分野については、日文を採択するというところでよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは、そのようにいたします。

### ○大下教育長

続いて数学の審議に入りたいと思います。各委員の方からご質問やご意見をお願いします。

### ○植原教育長職務代理人

数学で二点確認したいのですが、QRコード、デジタルコンテンツの活用しやすい状況、もう一点は数学自体、小学校との関連性が非常に強い教科です。その2点についてどのような考えか教えてください。

### ○山本学校教育課指導主事

調査員の話でも、やはりICT化、デジタルコンテンツ等の重要性の話は出ていました。そこでQRコードについての調査もありまして、各者ともデジタルコンテンツはとても豊富で動きがある作図などでは、そういう映像を見ることができるといった話は聞いています。ただ違いがあるのは、表示の仕方です。例えば東京書籍などは、最初のページにQRコードがありまして、そこから飛ぶようになっています。あと、中にはDマークやwebマーク、そういったマークもあるのですが、数研は章の初めにQRコードがあります。啓林館と学校図書については、そのページ毎にQRコードがあります。調査員の話から、ページに隣接してい

た方が、見落としにくい、活用しやすいという話は聞いています。

○植原教育長職務代理者

ページ隣接はどの出版社ですか。

○山本学校教育課指導主事

ページに隣接しているのは、啓林館と学校図書です。

もう一つの質問で、小学校からの積み重ね、小学校から中学校への引き継ぎも、とても各者とも考えています。例えば章の初めに、東京書籍などは「0章」を設けています。他の発行者の方でも、数学に学ぶにあたって小学校からの引き継ぎを重視していると聞いています。

○谷口委員

私も今説明をしていただいたところを最初に聞きたいと思っていました。東京書籍などは算数から数学となっていて、確かに中1ギャップが起こる一つの数学嫌いに陥る、いきなり数学という形になって学問だということで大人になっていくというドキドキ感もあって、期待する子どももいると思いますが、それで拒否反応を起こしてしまう子どもも出てくる可能性のある教科であると思いますので、導入についてどのようになっているのかを聞いたかったのですが、各者とも考えているということですが、特に力を入れている教科書があるということではないですか

○山本学校教育課指導主事

調査員の方でも、主体的な学びに取り組むために導入は一つの大切な部分ということで調査はしています。導入の多さで言いますと、東京書籍と大日本が導入部分のページ数は多いです。ただ調査員の話では、学校図書は体験的な導入が多いという話を聞いています。体験的なものから法則を見いだす、具体的なものを使って数学に触れていく、そういう体験的なものが多いのは学校図書という調査結果を受けています。

○谷口委員

啓林館の教科書で、「みんなで学ぼう」編と「自分から学ぼう」編に編集されているのですが、これについて調査員の中では、どのような意見が出ていましたか。

○山本学校教育課指導主事

「自分から学ぼう」編を自主的に活用できれば一番良いのですが、積極的に活用する生徒もいれば、積極的に活用できない生徒もいるだろうという話も聞いています。

○谷口委員

見ていますと「自分から学ぼう」編はかなりレベルが高いという印象を受けていたのですが、そう理解していい訳ですね。

次に数研出版には、探求ノートというのが付いているのですが、これについてはいかがでしょうか。

○山本学校教育課指導主事

教科書会社7社あるのですが、そういうふうな探求ノートを使っているのは、数研出版という調査です。ただ実際にはプリントを配って、応用問題を行っているので、数研のノートについては、岸和田の生徒にとって必要ではないのでは、というような話は聞いています。

○大下教育長

数学というのは、数字だけ見ていると非常にしんどくなるので、やはり数が苦手だという

意識を持っている子どもにも、とっつきやすくしてあげる工夫が必要であると思います。それを教員から授業を通じて見るということもあるのですが、自ら教科書を開いた時に中身を読んでみようかなと思わせるということも非常に大事だと思うのですが、その点で工夫を凝らしている出版社はありますか。

#### ○山本学校教育課指導主事

どの教科書会社も工夫は凝らしていると思うのですが、その中で対話的なコラム、対話的なキャラクターの言葉であるとか、ちょっとしたポイントが多いのは、学校図書、教育出版、啓林館という話を聞いています。あと更に深い学びにつなげるような統合的、発展的な注釈、コラム等は学校図書が多いという調査結果を受けています。それを見れば、ヒントになる、取り組みやすくなるというような意見も出ていました。

#### ○大下教育長

対話的なコラムであるとか、キャラクターを活用するなど、そういうことで工夫を凝らしているのは学校図書、教育出版、啓林館で、その中で統合的、発展的コラムがあるのは学校図書ということですが、どのページでしょうか。

#### ○山本学校教育課指導主事

学校図書で言いますと、1年生の32、33ページの、教えてどんなことがわかったかな、次の課題でつなげるようなことであるとか、38、39ページの「見方・考え方」、それによって見通しが立つ、40ページにも「見方・考え方」、そのような箇所を数えると学校図書が多いという調査結果を受けています。また、コラムはポイント、吹き出しという意味です。

#### ○野口委員

大きな単元の流れは多分どの教科書も、正の数、負の数から始まってデータの活用という流れはどの教科書も同じように思うのですが、それぞれの単元の中で指導内容が少し順番が違うようなことはなかったですか。

#### ○山本学校教育課指導主事

単元の順番も教科書会社により少し違います。例えば表面積、体積の求め方が小学校では、表面積から体積に移り変わるのですが、体積を求めて表面積になるというような教科書が教育出版、啓林館、数研等があげられています。球の体積を求めた後に球の表面積へという流れです。小学校でしたら表面積から体積へという思考がありますので、そこは工夫が必要であるという調査結果を受けています。

#### ○野口委員

実際に生徒に指導する上では、小学校と同じように、表面積から体積への方が指導しやすいということでしょうか。

#### ○山本学校教育課指導主事

生徒の思考になると、表面積があつて体積というような話を聞いています。

#### ○野口委員

他にも、恐らくちょっとした指導内容の違いがあるのではないかと思うのですが、そういう意味で岸和田の子ども達にとってオーソドックスな流れ、思考していきやすい流れに統一されている、そういう面で考えるとどの教科書が子ども達にとって使いやすいといった意見はなかったでしょうか。

○山本学校教育課指導主事

流れとしては、東京書籍、日文、学校図書、大日本というような話を調査員から報告を受けています。

○野口委員

それらの教科書は、子ども達に教科書のページ通りに学習させていくことができるということでもいいのですね。

○大下教育長

最初の方の議論で主体的な学びを進める上では導入部分が大事であるということで、特に学校図書については、体験的なものが多いという話がありましたが、具体的に例を示していただくと、どの学年のどのページになりますか。

○山本学校教育課指導主事

1学年の例えば方程式 94、95 ページ、実際に上皿天秤とクリップを使って具体物から方程式へつなげていく。167 ページ平面図形では、この教科書を使いながら求めていく。そういう体験的な活動が多いという話を受けています。

○谷口委員

プログラミング教育についてはどうでしょうか。

○山本学校教育課指導主事

プログラミング教育も今必修になっていますので、どの教科書会社も取り組んでいましてあるのですが、そこでも調査員の目を引いたのは、学校図書の一番最後の付録の部分にスクラッチという技術でも使っているソフトがあるのですが、それを切り離して丁寧に説明されている。そういうところも調査員の目は引いていました。

○野口委員

スクラッチは岸和田の各学校で実際に体験することができるのですね。

○山本学校教育課指導主事

今パソコン室にスクラッチを導入してしまして、実際に導入していない学校でもすぐに見えるようになっていきます。

○谷口委員

他の教科書にはそういったものが無いのですか。

○山本学校教育課指導主事

スクラッチについては、日文の1学年 270、271 ページに「スクラッチというものを使って」というコラムは確かにあります。ただ付録のように見やすいということになると、学校図書の話が出てきました。

○谷口委員

プログラミング教育を行うのに、スクラッチは非常に扱いやすいソフトなのでしょう。逆に言うとそれが無ければなかなか生徒達に理解してもらうことは困難ということなのでしょう。

○山本学校教育課指導主事

本来は、そういうものが無くてもプログラミング的思考を学習の中で培っていくものがあるのですが、取っかかりやすさ、導入の部分となるとスクラッチ等の実際に動かせるもの

がある方が便利という話は聞いています。

**○大下教育長**

それでは、今教育委員からいろいろな質問をさせていただいて、調査員の話も聞かせていただきましたが、各項目について比較的评价が高かったということ、併せて最後のプログラミング教育のところでもやや他に比べて優位性があるという話もありましたので、数学については、学校図書ということで皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

**○大下教育長**

続いて理科の審議に移ります。各委員の方からご質問やご意見をお願いします。

**○谷口委員**

まず教科書の大きさについてですが、東書が少し長細い、啓林館、教出、学図が横に広いなど、それぞれ大きさが微妙に違うのですが、それについて優位性があるといった意見はありませんでしょうか。

**○出水生涯学習課指導主事**

調査員の中では、現在は大日本の教科書の大きさのものを使用しているのですが、机の上に置いて開いた時に、教科書だけではなくノートも開いて使いますので、その点で今までより大きくなっているというところが、使いにくいところがあるかもしれない、東書に関しては縦長なので、これも鞆の中に入れてロッカーに収めたりするとき大丈夫かといった心配の声はありました。

**○谷口委員**

大きく縦長になることによって何か優位な点があるのでしょうか。それを意図しているわけではないのでしょうか。

**○出水生涯学習課指導主事**

理科の最近の教科書は特にイラストやグラフ、写真等が多く載っていますので、その部分に関しては大きく、文章だけでなくイラスト、図を大きく載せることができるというところで、大きくなっていることは優位であると調査員も感じていました。

**○野口委員**

生物分野などでは、本当は全て実物を観察しながら学習できることが一番だと思うのですが、全てのものの実物を見るということは難しいですので、そうすると写真でしっかりと科学的に実物の特徴、そのものを捉えることができるということも必要ではないかと思うのですが、そういった意味では写真の資料を理科としてみた時に適切、優れているという教科書があれば教えてください。

**○出水生涯学習課指導主事**

調査員の中では、写真が特にインパクトがあるのは、東書、啓林館に関して導入部分での写真等がインパクトがあって、興味関心を持ちやすいのではないかという話がありました。生物分野に特化した訳ではないのですが、分かりやすい写真が使われているのは、東書、啓林館ということで調査員の中では話が出ていました。

### ○谷口委員

理科嫌いというのもよく聞く話ですが、本来理科は実験などがあって非常に楽しいはずだと思います。それが嫌いになってしまうところの分野で生物、地学、化学、物理と分野がある中で、やはり物理というのはなかなか嫌いになる要素が多いかなと考えますので、その辺りで物理のことを分かりやすく工夫されている教科書という話は出ませんでしたか。

### ○出水生涯学習課指導主事

調査員の中でも理科の中で難しいのは、法則や原理に関して計算をするというところが、子ども達がなかなか理解しにくいところであるという話は出ていました。その中で法則に関しては東書と啓林館は例題を載せて、その後に練習問題も載せているということで、例題で理解して自分で実際に解いてみるという学習の流れが子どもにとっては良いのではないかという話がありました。他の大日本に関しては例題のみ、教出も例題のみ、学図に関しては練習問題のみというようなどころがありましたので、例題と練習問題をセットにして法則の解説をしているという東書と啓林館が使いやすいのではないかという話が出ていました。

### ○植原教育長職務代理者

理科の範囲に災害もありますが、その取り扱い、そして分かりやすい、先生が説明しやすいということについてどのような話がありましたか。

### ○出水生涯学習課指導主事

1年生で地層や地震というところで、災害に関する記述があるのと、3年生の最後のところで持続可能な社会ということで、そこでも防災、減災ということで出ていました。各者ともに防災についての記述はあるのですが、特に啓林館で「防災減災ラボ」というコラムを付けて全学年で扱っていますので、この辺りが生徒にも理解しやすいのではないかという話は出ていました。

### ○野口委員

中学校になると危険を伴う実験も多くあるのではないかと思いますのですが、より安全にそして確実に実験を行うための指導ができるように記載されているという点ではどうでしょうか。

### ○出水生涯学習課指導主事

ページ数調査で安全について取り上げているページを調査員に調べてもらいましたが、その中では大日本が14ページ、啓林館が12ページ、東書10ページ、学図が2ページ、教出7ページということで、数で言いますと大日本と啓林館が他の発行者よりも多いです。ただどの発行者も実験のところには注意書きとして、こういったことに気をつけましょうと文字の色を変えて注意喚起をしていますので、起こりやすい事故と言いますか、火傷や試験管やビーカーを割ってしまうということはよくあるのですが、その辺りについてはどの発行者も色を変えて注意を喚起をしているということは報告されていました。

### ○谷口委員

今お聞きした中では、調査員の中では啓林館が結構高評価だと感じているのですが、啓林館の教科書だけが後ろに「探Qシート」というのが付いていまして、これを分離して使うようになっていると思うのですが、これは何か活用できるという話は出ていましたでしょうか。

### ○出水生涯学習課指導主事

新しい学習指導要領の中でも主体的、対話的で深い学びということで、理科でも話し合い活動をする時に「探Qシート」を使って話し合いをすることができるということで、各者話し合いについて、こういうふうに取り組みましょうという記載はあるのですが、このように切り取ってノートに貼ったりできるというところでは、使いやすいのではないかという話がありました。

### ○大下教育長

理科というのは、その事象が起きた時、或いはそれを見た時に、これは何故なのだろうかという疑問を持って、それを自分なりに答えを見つけていくと言うことが大事だと思うのですが、そういうことについて工夫を凝らしている教科書はありますか。

### ○出水生涯学習課指導主事

理科の教科書に最近多く記載されているのは、実生活や職業と関連した理科に係するものということで、本当に各者ともに工夫されています。東書であれば「つながる理科」、大日本は「暮らしの中の理科」、学図は「ミッションX」や「プロフェッショナル」、教出は「ハローサイエンス」、啓林館は「〇〇ラボ」ということで多く掲載されています。この中でも啓林館が「部活ラボ」であったり「料理ラボ」、「お仕事ラボ」ということで自分達が身近に疑問を持ったことに関して理科的にはこういうつながりがあるのですということを紹介されている部分が多いので、そういう点でも啓林館に興味を持ったり理解しやすいのではないかという話が調査員の中でも出ていました。

### ○大下教育長

理科に関しましても、委員からのいろいろな問題提起であるとか疑問点を含めて特色をお聞きしたところ、啓林館が他に比べて少し教育委員の問題意識に関しては答えがしっかり用意されているということですので、理科については啓林館ということで、よろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

### ○大下教育長

続いて音楽の一般から審議に入ります。各委員の方からご質問やご意見をお願いします。

### ○谷口委員

「君が代」の扱いについて調査員から何か意見が出ていましたか。

### ○松本人権教育課指導主事

「君が代」につきましては、一番最後のページに載っています。調査員としましては、子ども達がみた時に、より取り組みやすい、もちろん知っている曲なのですが、イメージとして取り組みやすいというところでは、絵の視覚的などで教芸の方が調査員は子ども達は、より鮮明に写っていくのではないかという声がありました。また両方とも歌詞の意味の記載に少し違うところがありますが、両方ともしっかりと言葉の意味を捉えながら調べていく方が良いのではという話が出ていました。

### ○植原教育長職務代理者

2者ともQRコードの設定がありますが、それに関して調査員の中ではどのような話が出

ていましたか。

**○松本人権教育課指導主事**

教出は、「まなびリンク」というものが付いています。目次のところに付いているのですが、調べていくと曲を聴くことができます。あとは少しワークシートのようなものが付いています。教芸の方は、コンテンツになっていまして、見たいところのページに、コンテンツが付いているので、そこから見て、曲にたどり着くものもあれば、ホームページにアクセスされて、調べていくことができるといったページがあります。

**○植原教育長職務代理者**

調査員の感想はどうでしたか。

**○松本人権教育課指導主事**

調査員としましては、「まなびリンク」もコンテンツにつきましても両方とも家庭学習に特に有効にできるという話が出ていました。また、教芸のコンテンツの方は、子どもによって興味があれば、どんどんダウンロードして調べていくことができる、より深めることができるのではないかという話は出ていました。

**○野口委員**

日本の民謡でどちらもソーラン節が取り上げられていますが、表示の仕方が教出は五線譜で示されて、教芸は日本の小節の譜で綴られています、子ども達がソーラン節を会得して実際に歌っていくという意味ではどちらの方が扱いやすいでしょうか。

**○松本人権教育課指導主事**

教出の方は音符が載っていますので、子ども達が音程感というものは捉えやすいのではないかという話が出ていました。教芸の方は、小節を入れてどういった音感で携わっていくか、また全体的に教芸は、進みやそれ以外のアドバイスが資料として載っている。そういったところに子ども達の興味関心が深まるのではないかという話は出ていました。

**○野口委員**

日本の民謡の特徴として捉えるには、教芸の歌い回しや小節の表現の方が、日本の民謡というのはこのようなものなんだと体得しやすいですね

**○松本人権教育課指導主事**

生徒が視覚的に見るのに分かりやすい、伝えやすいというのは調査員の中で話が出ていました。

**○大下教育長**

音楽の鑑賞に関しては、まず素で聴いてみる。その時に自分がどういう印象を持ったかということが非常に大事ですし、逆の見方としてその歌が生まれてきた時代背景であるとか、その作曲家或いは作詞者が置かれた自分の身の回りの環境であるとかを理解することで、曲に対する理解が深まると思うのですが、その辺りに突っ込んだ記載をしているということに関して両者において特色は見られるでしょうか。

**○松本人権教育課指導主事**

教出につきましては、鑑賞の部分で楽曲については端的に書かれていたり、時代背景が明記されていて、年表が書かれているので子ども達にその時代というものを把握できるのではないかという話は出ていました。教芸でも鑑賞の部分では、同様に楽曲についての説明

であったり 楽譜が載っている部分では少し色分けをして明記されていて、そこを注目できるように子ども達が見やすくできている。そういったところが調査員の中では取り組みやすいのではないかという話が出ていました。

#### ○谷口委員

著作権の記載についてはどうですか。

#### ○松本人権教育課指導主事

著作権につきましては、各者とも調査員の指摘はなかったのですが、ただ学習指導要領の中でも明記されていますので、十分に子ども達が学んでいかなければならないということもありますし、教芸につきましては、QRコードのコンテンツが付いていまして、そこにアクセスして調べていくことができるというところがあります。

#### ○大下教育長

今いろいろな意見がありました。視覚的な面、さらには見たいところにQRコードが付いているということに加えて、日本の伝統、特にソーラン節に関して従来の西洋音楽の五線譜ではなく、日本の伝統的な表記の仕方をしているということも含めまして、教芸にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

#### ○大下教育長

続いて器楽合奏の審議に入りたいと思います。

#### ○植原教育長職務代理者

音楽の教科書と器楽の教科書は構成や内容を考えると同じものが良いのですか。それとも違って大丈夫ですか。

#### ○松本人権教育課指導主事

出版社に関しては、特に同じ方が良い、違う方が良いという意見は出ませんでした。とにかく器楽の教科書を見て子ども達が興味を持って取り組めるというところを調査員は念頭において調査していました。

#### ○谷口委員

載っている全ての楽器を生徒が自分で触ることは多分できないので、この楽器はどういう形のものなのかということを理解しやすい写真、或いは説明されている教科書はどちらですか。

#### ○松本人権教育課指導主事

両者とも写真で大きく明示されていたり、視覚的に必要な部分を写真で表しているのではないかと思います。特に岸和田市では琴を使っている学校も多いですので、その部分で調査員の方は見られていました。琴の部分で言いますと、両者とも写真もちろん入っていますし、いろいろな曲も入っているのですが、視覚的に子ども達が見た時に教芸の方が、少し子ども達が学んでいく道筋と言いますか、琴の名称であったり、姿勢や構え方があったり、次に基本的な奏法を学んでいく、そして曲が順番に難しくなっている、そういったところの明記が分かりやすくされていて、生徒達に指導はしやすいという話が出ていました。

○野口委員

ギターも両方の教科書に載っていますが、必修ですか、選択ですか。

○松本人権教育課指導主事

ギターも学校により、するところとしないところがあるようです。概ねしているように聞いています。

○野口委員

ギターの指導については、教出の方はハイレベルではないですか。どちらかと言えば教芸の方が指使いなどを分かりやすく書いています。教出はラ・クンパルシータまでいってここまでいけるのかなという思いを持ちました。これはとてもレベルが違いますよね。

○松本人権教育課指導主事

調査員の中でもギターの話は出ていました。ギターのコード表も教出は写真で、教芸は色つきの指使いでということでも明記されていましたが、教出の方は見開き最後のページというところもあって、これを3年間使うのにどうかという話は出ていました。また曲につきましても子ども達が取り組みやすい方がよい、順番に高度かなという話は出ていました。

○大下教育長

音楽に関しては、一般と器楽が必ずしも教科書が同一である必要性は無いということですが、琴での子供達への分かりやすさ、指導のしやすさ、ギターでの親しみやすさ、取り組みやすさという点で教芸の教科書を採択するという事で皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

○大下教育長

続いて美術の審議に移ります。

○谷口委員

美術の教科書で日文だけが3冊、他は2冊になっていますので、情報量の違いがあるのではないかと普通に考えてしまいますが、その辺りの意見は出ませんでしたか。

○田井学校教育課指導主事

日文については、3冊構成になっています。その点で内容はどうかということですが、日文は紙面が大きいので、それぞれの題材について大きく示されているという話は出ていました。その他の発行者についても、それぞれ大きく見せたいポイントについては、見開きにするなどして大きく見せて鑑賞を深めるという内容になっているという報告を受けています。

○谷口委員

鑑賞という点では、3冊でも2冊でも遜色がないと受け取ったのですが、美術で鑑賞ということがとても大事だと思いますので、その点で工夫をされている教科書があれば教えてください。

○田井学校教育課指導主事

まず開隆堂ですが、紙面構成がそれぞれ見開きで大きく見せるという工夫をしています。光村については、鑑賞のページ、例えば1年生の30ページにあります風神雷神のところでは、まずぱっと見ると彫刻があって、開くと風神雷神の屏風が見えてくるという工夫が見られます。日文についても鑑賞を深めるために大きく見開きで示されているところがあります。

## ○植原委員

各教科書の中で、中学生が使っていて、家でも教科書を見て、こういうふうになれば自分で学習が進められるのだというポイントはありますか。例えばマークであるとか、絵をこういう視点から鑑賞すればどうかなど、そういうものがあれば、こういう時代なので苦手な生徒も家で学習が進められると思います。これが一点。

非常に難しい作品がたくさん出ているのですが、極端に好き、嫌いが芸術系ではありますが、この教科書は子ども達が興味を持つのではないか、見ていて楽しいのではないか、美術が好きになる、絵を描くことが好きになるというような議論は出ましたか。

## ○田井学校教育課指導主事

まず一つ目の家庭での学習についてですが、鑑賞のポイントというところで、開隆堂については、「学習のポイント」というマークでその題材でポイントとなるようなところを示しつつ深い学びにもっていくような示し方をしています。光村は「鑑賞」マークがそれぞれの題材に付いています。そのマークの中で具体的にどこを見たら良いかというポイントを示しながら、具体的な問いが生徒に分かりやすく示されています。日文についても、「造形的な視点」マークというものが付いていて、題材の中心発問が示されていて、具体的な問いかけで鑑賞が深まるようなきっかけ作りをするようなところがあります。

それから家庭でということですが、家庭で使う際には、例えばQRコードが各者とも用意されています。QRコードについて、開隆堂はそれぞれ作品が所蔵されている美術館へのリンクになっています。光村は、その作品の音声ガイダンスが付いています。そのガイダンスも具体的にどのポイントを見たら良いかということも示しつつ、子ども達に投げかけるような、想像してみましようというようなガイダンスになっています。日文についてもQRコードがありますが、作品の紹介、例えば風神雷神であれば、その屏風の見方というような内容になっています。

次に生徒にとってどういったものが興味関心を持てるかということですが、例えば光村では、それぞれのページに関連付けるページがあります。2、3年生の26ページ、北斎からゴッホへというページがあります。そこでまず北斎の「神奈川沖浪裏」という作品を見ながら、その裏をめくるとゴッホの作品「星月夜」が載っています。そういったところで北斎とゴッホとの関連性、ゴッホが北斎から影響を受けたということが、ぱっと見て分かるような紙面構成となっており、子ども達にとっても興味関心を持てるのではないかという意見が出ていました。

## ○野口委員

生徒の作品をたくさん展示してあれば、自分でも制作してみたいという意欲につながりやすいと思います。生徒の作品がたくさんあるのはとても大事なことだと思います。その生徒作品の扱い方で、例えば光村の1年生の12ページには、まず生徒がどういうことを描きたいかを書いて、そしてその次にどのような手順でそれを表現していったかを非常に細かく生徒自身が取り組んだことが書かれています。例えば開隆堂では生徒の言葉として自分はこういったことを工夫して描きましたということで、特に手順を示したりはしていない。これはそれぞれ一長一短あると思いますが、生徒を指導するにあたってはどうでしょうか。手順がきちっとあれば皆が同じような手順になってしまい創造性のところに引っかかってくるの

かと思うのですが、ちょっと二の足を踏むような生徒にとっては、このように手順を踏んでいけば自分でも思うような表現ができるのだというふうになると思います。それぞれあるとは思いますが、調査員の中ではどのような意見が出ていましたか。

#### ○田井学校教育課指導主事

まず発想を広げて構想を練っていくための具体的な手立てというところで話はありました。まず開隆堂については、「双葉マーク」というマークであるとか、或いは「作者の言葉」というところで生徒たちが発想や構想のヒントを得られるような示し方になっています。光村については、表現のところで、それぞれの題材に必ず「鑑賞」というところがあって、続いて表現、発想、構想というところで構想の練り方、考え方というところのヒントがあって、そして「みんなの工夫」が載せられています。生徒がどのような過程で制作するのかというところにつなげて、最終的にはもう一度鑑賞するというように光村の教科書については、授業の一連の流れが示されています。日文については、アイデアスケッチというものが随所に散りばめられています。そこでどのように作品を構成していくのかというヒントが載せられているということで調査員から話がありました。

#### ○野口委員

美術は鑑賞ももちろんですが、最終的には自分で描く、自分で創作するというところが大きな目標になってくると思うので、その手助けになるような教科書が良いのではないかと意味では、日文、開隆堂の教科書も良いのですが、光村の手順や生徒がしてきたことを非常に丁寧に示しているということは、岸和田の生徒にとっても手助けになるのではないかと感想を持ちました。

#### ○大下教育長

それでは、委員から意見が出ましたが、見て楽しいという事に関しては、一見関連性のない日本の浮世絵とゴッホが実は関連しているということで関連付けて説明している点や、実際の制作過程においてどういう流れでという一連の作業を分かりやすくガイダンスしているという特色がある光村の教科書を採択するというところで、委員の皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

#### ○大下教育長

続いて保健体育の審議に入りたいと思います。各委員の方からご質問やご意見をお願いします。

#### ○植原教育長職務代理者

最近話題になっているのが、新しい学習指導要領では感染症に重点を置いていますよね、インフルエンザも含めて保健で扱いますが、それに関して各者どういう扱いをしているのか、どれ位ページを取っているのかが分かっているなら教えてください。

#### ○植林学校教育課指導主事

感染症対策についてですが、内容に関しては調査員の方では踏み込んだ調査はしていない状況です。

#### ○谷口委員

今、コロナで大変なことになっていますが、いろいろな感染症が出ていますので、教科書を見せていただいて、調査員の方はたまたま重点的に見ていないということですが、各者いろいろと書いてあり、大修館は感染する経路をまとめて記録されている。これは非常に分かりやすいと思います。大日本もインフルエンザを中心にエビデンスがはっきりと因果関係が分かっていることをということで、教科書ですので確定したことを、コロナはまだ分かりませんので、非常にしっかりと書けており、これは非常に大事なことだと思います。

中学生と言いますと、心も体も段々と大人になっていくという大きな変化の時ですので、思春期ということと同時に性教育についてもしっかりと教えていかないと、子ども達が性のことを知るの学校では2割程度しか習っていない。あとは友達やSNSなど、ある意味間違った情報をたくさん知ることになっているので、性教育について先生が照れずにしっかりと教えることができる内容を含んでいる教科書について討論はなかったでしょうか。

#### ○植林学校教育課指導主事

性教育について話はありました。どの者も性器などをイラストや写真等で取り上げています。特にその中では、大日本は受精のところから赤ちゃんまでを一連の流れで大きく資料として載せられていると聞いています。

#### ○野口委員

心肺蘇生についても、誰でもがその場に危機的な状況の人がいれば心肺蘇生をするという流れになってきていると思いますので、中学生であれば自分がすることとして捉えて欲しいと思います。そういった意味で心肺蘇生法を実際に自分がすることとして捉えた時に分かりやすい教科書はどれであったのか、中学生であればAEDのこともきっちり知っておいて欲しいと思うのですが、これについてはどのような評価をされていたでしょうか。

#### ○植林学校教育課指導主事

心肺蘇生法は各者とも取り扱いをされていました。その中で特にということで大日本になるのですが、107ページから109ページまでの見開き3ページに渡って、傷病者の発見からAEDの使い方というところまで丁寧に説明されていると聞いています。

#### ○谷口委員

薬物についてはいかがでしょうか。

#### ○植林学校教育課指導主事

薬物についても各者とも扱われていまして、薬物の写真やイラストであったり、その効果であったりというところで各者とも資料等がありました。

#### ○谷口委員

岸和田の子ども達は結構飲酒や喫煙の率が全国平均と比べて高いですが、その辺りの記述をしっかりとしている教科書はありますか。

#### ○植林学校教育課指導主事

どの者がというところまでは、調査員からは聞いていません。

#### ○谷口委員

先ほど心肺蘇生法のところで、大日本が3ページに渡って、非常に使いやすいとお聞きしましたが、その他に何か教える側にとって使いやすい教科書、或いはその特色というものが

あれば教えてください。

#### ○植林学校教育課指導主事

教える側、先生の目線ということで、各者ともいろいろと教える側での使いやすさという話が出ていましたが、どの者も一時間の流れが分かりやすい、学習の課題があって、考えることがあって、まとめがあるというようなところはどの者もありました。東京書籍では、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」といった形で教科書に矢印で流れを書いているということで、教師も生徒も一時間の流れが見通しやすいのではないかという話がありました。大日本は見開きの左半分が本文、右半分が資料、これが統一されていて、視覚的にも、本文、資料ということで見やすいのではないかと、「学習のねらい」、「つかもう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」というところで、主体的で対話的な学習につながっていくのではないかという話が調査員から出ていました。

#### ○大下教育長

今、一部言及があったかと思いますが、子ども達が健康を蝕む原因であるとか、健康を維持するうえで何が必要かということをも自分自身の問題として考えて、或いはそれに関して意見を戦わせる、まさに主体的対話的な学びということが、保健の分野においても重要であると思います。その辺について各者の工夫というものは、どのようなものがありますか。

#### ○植林学校教育課指導主事

各者とも学習の仕方ということで、自分で考えて課題を解決していく、または生徒同士で話し合っ問題解決していく、またはロールプレイング型という形で授業の中で自分の意見を言っていく、というような取り組みが書かれています。それがどの者もそうですが、教科書の使い方ということで、各種課題の学習方法ということで、発表する、提案する、ディスカッションする、コンピューターや図書館を活用する、インタビューやアンケートをするといったことが盛り込まれています。

#### ○大下教育長

今、説明のあったところについては各者とも特に優劣がないということですか。

#### ○植林学校教育課指導主事

学び方に関しては、各者ともそのような学び方ができるということで説明がされていて、それぞれ単元を設定しています。

#### ○大下教育長

明確なこれという優劣は、なかなか付け難い部分がありますが、基本的に見開きで左側に本文があり、右側に資料があるというのは、子ども達が非常に見やすいであろうということ。他者も言及がありますが、感染症に関しては、しっかりと記述がされているということ。さらには見開きで心肺蘇生に関する一連の流れがつかめるというふうなところを総合的に勘案して、保健体育については大日本図書の教科書を採択したいと思いますが、委員の皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

#### ○大下教育長

続いて技術・家庭の技術分野の審議に入ります。各委員からご意見等お願いします。

## ○谷口委員

まず教図だけがハンドブックが付いていますが、有効に活用できるかについて意見は出ませんでしたか。

## ○山本人権教育課指導主事

調査員から意見は出ていました。別冊ハンドブックがあるということで、基礎的な内容を復習することができ、参考になるとの意見が出ていました。これをどのような時に使うかも調査員が調べていまして、例えば東京書籍ですと 52、53 ページのさしがねを使ったけがきについて調べようと思います。教育図書は 28、29 ページでさしがねを使ったけがきについて調べようと思います。開隆堂も 69 ページでさしがねを使ったけがきについて調べようと思います。それと東京書籍は、けがきについて見開き 2 ページで説明をしています。別冊のある教育図書は 28 ページでけがきについて書かれていますが、少し説明不足を感じてしましますが、そこで 27 ページを見ると別冊の 2 ページから 5 ページを参考にしてくださいと書かれていますので、別冊の 2 ページを見ると 2 ページを使って、けがきの説明がされていて、このように参考にできるという報告を受けています。

## ○谷口委員

そうしますといろいろ机の上ののっているところに、もう一冊増えるのは大変かなと思いますが、その辺りはいかがでしょうか。

## ○山本人権教育課指導主事

調査員からの報告としては、情報量は増えるのですが、説明などで逆に時間が取られてしまうのではないかという心配をしていました。

## ○野口委員

これだけの内容を限られた授業時数、以前と比べると少し減っている 70、70、50 という時間数の中で全て学習しなければならない、それも学習だけではなくて実技をしなければ意味がないと思うのですが、コンパクトで分かりやすく実技にしっかりとつなげる教科書がきっと生徒には必要であると思いますが、ページ数にはそれ程大きな差はなかったですか。それから資料の分かりやすさという点ではいかがでしょうか。

## ○山本人権教育課指導主事

実習例としましては、教育図書の実習例が多数掲載されていますが、しっかり吸収できる、学習の手助けとなるということで、実習の過程が見て分かる、教科書を参考にして見て分かるということがとても大事な観点になってくると思います。先ほどの東京書籍の 52、53 ページのけがきのページ、教育図書の 28、29 ページのけがきのページ、開隆堂の 69 ページのけがきのページを比べてみますと、東京書籍は実験の過程が番号とピンクの三角の矢印で示されており、こういうふうに進めていけば良いということが見て分かるようになっています。教育図書も番号と緑色の矢印で示されており過程が分かりやすくなっています。開隆堂は 55 図、56 図、57 図と数字で示されています。調査員からは、マークや矢印があった方が効果的で手順が分かりやすいという報告を受けています。

## ○植原教育長職務代理者

技術の指導要領が改訂された中で、技術の見方、考え方は以前と一緒ですが、その後に生活や社会と環境との関りで物事を見る視点など、改訂でそういうことを書かれています。

いうことは子ども達がこの中で教科書を使って自分の身近な生活との関わりで課題を探して解決しようと思いを描く見方というのか、皆載っているとは思いますが、そういうことで教科書を使った時に使いやすい教科書は調査員の意見を聞けばどれになりますか。

#### ○山本人権教育課指導主事

調査員からの報告では、導入の部分でどのような写真があるか、これで子ども達の興味関心を掴みやすいという意見があります。そこで材料と加工の技術の写真を見比べてみますと、東京書籍は新国立競技場であったり自転車、ペットボトル等身近なものから最新技術のところまで載っています。教育図書は大きな写真で新国立競技場が載っています。開隆堂はある大学の個性的な図書館の写真が載っています。調査員からの報告では、やはり身近なものから最新のものまで、様々なジャンルが載っている方が多くの子ども達が興味を示すのではないかという話がありました。そこで次に学習に入っていくのですが、最初の課題として東京書籍は教室や技術室を見渡してどのような材料が使われているか調べましょうということで、すぐに答えが出せる発問となっています。教育図書はお弁当の材料にどの材料が使いやすいか等、少し学習を進めていけば分かるという発問になっています。開隆堂は生活や社会ではどのような材料が使われているのか、またその材料はどのように加工されているのだろうかというところで知識がないと答えにくい発問となっています。考える、思考の面であれば答えが分からない方が良いのですが、やはり分かる、できるということを大事にしたいと考えている調査員は授業の入りやすい方が良いのではないかという考えでありました。

#### ○植原教育長職務代理者

それでは、どれが使いやすいという話でしたか。

#### ○山本人権教育課指導主事

答えがすぐに分かる、出来る方が大事で使いやすいという話でした。

#### ○谷口委員

プログラミング教育について各教科書はどうかということを教えてください。

#### ○山本人権教育課指導主事

各者ともプログラミング教育については、詳しく説明をしています。使っている教材もスクラッチをアプリとして紹介していました。東京書籍は巻末の付録として詳しくプログラミング手帳ということで紹介しています。

#### ○大下教育長

いろいろな意見が出ましたが、子ども達が興味関心を引きやすいという意味で身近なものから最新のものまで資料を引用しているという点。さらには実習の過程が分かりやすく記載されているという点。さらに身近なものに題材を引いて発見させる、或いはその考え方をまとめる工夫が凝らされているというところを総合的に判断しまして、東京書籍の教科書を採用したいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

#### ○大下教育長

続いて技術・家庭の家庭分野の審議に入ります。各委員からご意見等お願いします。

### ○植原教育長職務代理者

家庭科の中学校での教育的な目標は家庭の一員としての心情、その心情を育て上げて家族の一員として生活をより良くしていきましょと、そういった中で中学校の義務教育段階では、知識を教えなさい、思考力、判断力をつけなさい、そして学びに向かいなさいとの三つを言っています。目標から言えば家庭を中心に展開していますよね、そういう点から見た場合、使いやすいと言いますか家庭から、自らの判断力や思考力、学びに向かう力というものを養っていくのにより良い形、生活を養う、作っていこうというのは、調査員も焦点を絞っていると思いますが、どのような意見ができましたか。またどう思うか、これを使えば一番実現しやすいなという意見が出たか教えてください。

### ○山本人権教育課指導主事

各者とも知識の面であったり、思考の面であったりたくさんの情報で指導できるようになっていますが、調査員が、これは良いと言っていたのは、教育図書の各単元の最後に「学びを生かそう」というページがありまして、例えば 102、103 ページにあります。各者とも学習の振り返りはありますが、教育図書は「学びを生かそう」というところもさらにありまして、具体的に示されている学習の過程で学んだ後にもう一度自分でやってみようというのがあります、何をしたら良いか悩む子ども達に対しては、「私の課題例」としてこのようなことをすればどうですかという具体例もあげてくれてありますので、学習後にさらに深めるといところが、このページは使いやすいという報告を受けています。

### ○植原教育長職務代理者谷口委員

三つの柱の学びの姿勢、これから自分で課題解決するために学んでいこうとする深い学びも明確に入れているのですね。

### ○山本人権教育課指導主事

1 番から順に 6 番まで行ったあとにまた 1 番に戻りなさいと、自分でサイクルを作っていきなさいというふうに指示されています。

### ○谷口委員

3 者の教科書の目次を見た時に、三本柱の「家庭」、「衣食住」、「消費」の配置が東書だけ最後に「家庭」という構成になっています。これについて調査員の中から何か意見は出ませんでしたか。

### ○山本人権教育課指導主事

中学校に入学してきた新 1 年生は家族についての学習からしていくそうで、家庭科のガイダンスをした後にスムーズに教科の学習に入っていくのは、最初に家族の単元がある方が良くと調査員は報告していました。

### ○谷口委員

家庭科ですので、栄養学でいろいろな食物や成分そういった表がたくさんでてくると思いますが、その表の見やすさについて各教科書どのように表現されているのですか。

### ○山本人権教育課指導主事

家庭科は実習が多く子ども達の使いやすさがとても大事になってくると考えています。例えば野菜の成分表を例にとりますと、東京書籍は 102、103 ページ、教育図書は 96、97 ページ、開隆堂は 156、157 ページに成分表が載っています。各者とも工夫されていまして、東

京書籍は1行ずつ白と黄色で色分けして見やすくしています。開隆堂も白と黄色で1行ずつ色を変えて、さらに黒が少し濃く見えます。教育図書は食品類ごとに色分けしており、さらにさいころのマークを使って1群から6群を分けていますので、このマークを見ただけですぐに分類できるようになっています。このページがどこにあるのかというところですが、教育図書は成分表の次のページは「一日分の献立を考えよう」というページになっていますので、参考にしやすくなっています。東京書籍と開隆堂は食品の最後のページにありますので、献立を考える際には戻らないといけないということで時間がかかるのではないかと調査員が言っていました。

#### ○野口委員

資料の表示や表でカラーがしっかりと使われてとても見て分類であるとか種類分けが分かりやすいのは確かに教育図書だと感じました。あとたくさん調理実習の事例が載っているのですが、それについても、どれも丁寧に初めて子ども達が調理をするうえでは分かりやすく表示されていると思いますが、何か調査員から見てこれは特徴的であるといったことはなかったですか。

#### ○山本人権教育課指導主事

実習も大事なのですが、実習した後にまた家庭で出来るのかということが調査員が話し合っていた部分ですが、例えばハンバーグの実習例であげてみますと東京書籍と教育図書は肉の焼き料理として紹介していましたが、開隆堂は肉を使った煮込み料理、煮込みハンバーグとして紹介されており、子ども達が身近に感じるのは、焼き料理だろうという報告を受けています。

実習した後の家庭での生かし方という点では、東京書籍と教育図書は「私のアレンジ」というコーナーで学習後も家庭で試したくなるようなアレンジを紹介しています。開隆堂はミンチに塩を入れてこねた回数、3回と30回を比べて焼け方の違いを紹介しており、これも家庭で試すことができるような題材が紹介されていました。

#### ○大下教育長

基本的に学びを生かす、学んだことを自分でやってみる、またそれを貯めていくということで使いやすいのではないかという意見があったり、食品の成分表に関しては、それぞれの分類が一覧の中に含まれていて、一見して分かるということ、さらにはカラーや資料についても全般的に見やすいのではないかということで、これも総合勘案ですが教育図書の教科書を採択するというので皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

#### ○大下教育長

続いて英語科の審議に入りたいと思います。各委員からご意見等お願いします。

#### ○谷口委員

ネイティブな発音を聞けるという意味では、QRコードから家庭学習等で活用できるのではないかと思います。それについて各教科書はどうなっていますか。

#### ○新田学校教育課指導主事

QRコードにつきましても調査員が調査をしていました。その中でももちろん発音のところ

については、各者ともクリックすれば、そこの本文であったり語句の音声流れるというようになっていました。やはり最近の子ども達は動画に興味を持ったり、そこから関心が深まったりするということで見ますと動画については、東京書籍の「P r e v i e w」の所に掲載されている動画、それから三省堂では英語落語の動画があったり、発音図鑑として3Dで音の出し方、息の流れを示すような動画があったと調査の報告を受けています。

#### ○植原教育長職務代理者

二つ質問します。英語に関してはまず小中の接続がどうなっているかということが一つ目。二つ目が接続に関係するのですが、今までの英語学習というのは、小学校で明確にはなかったもので、少しはしていましたが、今回は本格的な教科となっている、そうするとかなり中学校は内容が難しく長文になっていきます、長文読解は府立高校の入試の英語の傾向になっていますよね、そういう一面も当然考えてこられたと思うのですが、小学校からの接続の部分、二つ目は高校入試が長文へ変化していく中で読解力をどう養っていくかという視点、その辺りの意見を聞かせてください。

#### ○新田学校教育課指導主事

小学校との接続という観点からは、どの発行者も接続のページに、一定数ページを設定しています。その中でも調査員からは特徴的として三つあげられていました。東京書籍では、「Unit 5」まで小学校で学んだ表現を復習しながら、小学校で音を中心として覚えていた単語であったり表現を文字につなげるという過程を丁寧に扱っているという特徴があり、三省堂では小学校で聞いていた英語を文法的に整理しながら、ドリルで定着をさせて基礎的な力を十分に育成して、読み物へつなげていくということが特徴であるとあげられていました。教育出版、これは現在小学校で学んでいる教科書であるので、接続の点ではしやすいのではないかという意見が調査の方では出ていました。

もう一点の高校入試についてですが、公立高校入試となりますと600語程度の長文を読むことが必要になってきますが、高校入試に必要な読解力を身につけるという点では、3年生で600語以上の長文を扱っているのは、教育出版で二つ掲載がありました。その他は500語、400語というところですが、400語以上のところで見ると教育出版、光村図書が5つ掲載がありまして、語数的にも内容的にも読み応えがあるという意見が出ていました。その一方で岸和田の全ての子ども達が取り組みやすいという点を考えた時に東京書籍は500語以上が三つ掲載があり、また三省堂は400語以上が三つ掲載されているというそれぞれの特徴から、取り組みやすさということについても考える必要があるという意見が出ていました。

#### ○植原教育長職務代理者

小学校で外国語活動を行って、高学年で外国語を教科に進めていきます。そうすると今までの力ではないはずですが、中学校に上がってくる子ども達は当然力を付けて上がってくるはずですが、それも調査員の調査の中では配慮されているのですか。

#### ○新田学校教育課指導主事

そのことについても調査員の中で話があり、今回この新しい教科書をみた時に今までの教科書とは全者違うと、小学校での学びを踏まえたうえでの教科書が作成されているという意見は出ていました。

### ○野口委員

文科省が中学3年生が終わる段階では50%以上の生徒が英検3級以上の力を持つということを目指していますが、まだまだ全国的に言えばそこまでいっていないということですが、それについてはどの教科書でも、きちっと全て習得できれば英検3級は間違いないというふうに考えて大丈夫ですか。

### ○新田学校教育課指導主事

その点につきましては、特段調査員から意見があったわけではありませんが、基礎的な力をつけるところからの視点については各者取り組んでおりますし、それを発展させていくということも工夫されています。

### ○野口委員

それと同時に小学校で教科化される中で、とても心配されたのは小学校の時から英語嫌いを絶対につくってはいけないということで、小学校でもとても英語について取り組んできたと思うのですが、中学校においてもいろいろな小学生があがってきます、英語について子ども達が持っているベースが物凄く違いがきつとあると思います。非常に熱心で英会話学校に通わせる方もいらっしゃる、全く学校だけが学びの場ということで学校で全部習得させてほしいというところもあると思うのですが、そういう意味で岸和田の生徒達がまず英語嫌いにならずに親しみを持って意欲的に取り組めるという意味では、どれも検定を受けた教科書ですので優劣付け難いかと思いますが、使いやすいという視点でいけばどうでしょうか。

### ○新田学校教育課指導主事

調査員の話の中では、基礎的な力、その力を自分なりに使いこなす力、それをつけていけるようになるのがまず必要だという話が出ていました。その視点の中で考えた時に三省堂は、まず文法導入のドリルで語彙がたくさんイラスト付きで出ています。今まで音で聞いていた英語が文字になった時に抵抗感を感じる子どもがでてくるかもしれないという話の中で、やはり基礎の定着というところをまずはっきりさせて、それを読みにつなげて次に書く、そして実践するという流れが明確になっている、子ども達にもそれが分かりやすい、それが指導する側にも分かりやすいという意見が出ていました。

### ○植原教育長職務代理者

英語に関しては、自学自習、家庭学習が重要になってくると思いますが、そういう点で使いやすいのはどの教科書でしょうか。

### ○新田学校教育課指導主事

自学自習について取り上げているページ数調査の結果ですが、三省堂と教育出版が一番多いという調査結果になっています。また文法のまとめのところ分かりやすければ家でも学習ができるという話も出ていまして、その点でいくと、東京書籍、三省堂、光村図書、啓林館のまとめが見やすいという調査員の意見が出ていました。

### ○谷口委員

逆に消去法という観点から考えますと、語彙の数が膨大すぎる、或いはその出てくるスピードが非常に早すぎるという教科書はありましたでしょうか。

### ○新田学校教育課指導主事

語彙は小学校からの分も加わってかなり多くなっていますが、その中で各者、発信語彙と

して特に重要な語、それを使いこなすことができるようになることを目標とする語ということで、太字であったりアスタリスクを付けたりして分かるようにしているのですが、その中で一番多いのは 1000 を超えています光村図書が一番多かったです。それに対して一番少なかったのは開隆堂の 300 少しいところでありました。

それから文法的な進捗につきましては、新学習指導要領で新たな文法事項も加わっているというところで調査をしましたが、やはり増えているので前倒しと言いますか、今まで3年生で習っていたものを2年生、2年生で習っていたものを1年生というところを持つてくるということは想定されることですが、その中でも文法事項の前倒しが多かったのは教育出版でした。

#### ○大下教育長

長文の扱いについて調査員からも教科指導者としての意見をいただきたいのですが、全員に長文を学ばせるということが相応しいのか、それとも能力のついた段階で順次、例えば副教材等を利用して長文に親しむ機会を与える方が現実的なのかを考えた時に、いろいろな考え方があってと思うのですが、この前のチャレンジテストの結果を見ても残念ながら非常に厳しい状況の中で、いきなり全ての生徒に長文を読ませるとするのは少ししんどいのではないかという意見もあれば、入試の段階で必要なのでやはりそれを学ばせるべきであるという意見の両方があると思うのですが、今学校の指導に携わっている調査員はどのような意見でしたか。

#### ○新田学校教育課指導主事

長文をどう指導するかということは、調査の中でも話は出ていました。語数の多い読み物というのは必ず授業で全てができるわけではないというのは、調査の中でも話は出ていて、その年の生徒の状況によって難しかったりすることもあります。習熟度別の少人数指導ができていれば、長文を少し難しいレベルに変えてということも授業の中では可能なのですが、評価に関するテストについては同じ文章になります。力をつけるというところでは、長文にたくさん触れる方が良く、しかしそこまで力のついてきている子どもとそうでない子どもがいるというのが、今の岸和田の現状ではないかと思えます。

#### ○植原教育長職務代理者

小学校3年生、4年生で外国語活動が今まで以上に系統的にあって、5年生6年生で外国語教育が教科として始まります。そうすれば今まで行っていたとしても違いますよね、系統立てて、組織立てて行えば大きな成果が期待できる、そうすればそれがあった頃、なかった頃で中学校に入学してきた子どもの英語力の差はかなり大きいのではないのでしょうか。

#### ○倉垣学校教育課長

当然それを踏まえて各発行者もつくっています。

#### ○植原教育長職務代理者

それを踏まえたうえで長文に親しむような傾向で行えば、ついていけない子どもが出てきますか。

#### ○倉垣学校教育課長

今年度からですので、本市の実態、本市の児童生徒の状況もまだ明らかになっていませんし、まだ小学校3、4年生が外国語活動、5、6年生が外国語を行うのも今年度始まったば

かりですので、当然理想としてこうあるべきというのがありますが、まだ課題はどういうところかも掴めていない中で、今後どういうふうな形で中学校もその課題にどう対応していくのか、本市の生徒の実態にあった教科書を選ぶということであれば、まだその実態が分かり切れていないというのは確かです。

#### ○八幡人権教育課長

一般的にと言いますか、小学校の外国語活動が入ってきて中学校の先生の声で、音声に慣れ親しんでいるということがよく言われます。それを受けて中学校ではどうすべきかというところですが、英語の最終のゴールは4技能をバランスよく育成するというのがゴールで、その中で語数も増えてきますので、もちろん長文に対応できる力もつけないといけないと思います。長文読解でこれから求められるのは、長文があつて、その段落ごとの大意をしっかりとつかんでいくと、一文一文訳すのではなくて文章に何が書いてあるのか概要をしっかりとつかむ力が求められます。なので扱っている題材で学習の手順で、例えばしっかりとスモールステップを踏んで長文が読めるようになるということや、そういう作りの教科書が良いのではないかと思います。一気に長文を与えるのではなく、単語を習ったり、スピーキングの練習も行ったりしながら長文でも学習を進める、そういうステップを踏んでいく方が良いと思います。

#### ○植原教育長職務代理者

最終的には長文の全体の読解力がついていて、つけないといけないという目標は持たないといけません。どちらでも良いと思います。

例えば長文が少なければ、それについての補助教材がありますし、長文が多ければ短い文章の補助教材があります。一番使いやすいものを決めれば良いと思います。

#### ○大下教育長

英語はまさにコミュニケーションツールですので、相手方の言う事を理解するということが一番大事、そういう意味では長文であろうが短文であろうが文意を読み取るということが一番大事であると思います。現実的には今の状態も踏まえて一番使いやすい、子ども達が理解しやすい教科書を選定するという事に立ち返り、また総合判断になるのですが、いろいろな話を聞いていますと総合的には三省堂の評価が高かったのではないかと、QRコードを使った動画で発音の仕組みが分かるような工夫がされているということ、長文の問題についても500、400ということでは長短はありますが、教材が3点程用意をされているということ、それから基礎的な力を培うという意味では文法の導入で語彙がイラストで記載されていたりということ非常に子ども達にも分かりやすい、自学自習においてページ数調査をしても三省堂が一番多いということなどを総合的に勘案させていただいて、三省堂の教科書を採択するという事で皆さんよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

では、そのようにさせていただきます。

#### ○大下教育長

では、最後に道徳の審議に入りたいと思います。道徳の教科書については2年前に採択をしまして今の教科書を選定していますが、その間に道徳教育を巡って何らかの情勢変化があったのかどうか、また教科書の内容について顕著な違いがあるのかどうか、そういうことも

含めて調査員の考えを教えてください。

#### ○堀田学校教育課指導主事

調査員の話の中で調査の結果、この2年間で社会情勢等については特に調査員の方で変化があるという話は特に出していませんでした。また2年前の各教科書と現状使っている教科書との違いについても配列等で少しの変更点はあるかと考えられていますが、大きく資料は入れ替わるとか、大きく編成が変わる等大きな変更点はないと聞いています。

#### ○植原教育長職務代理者

一つずつ大きな変更点はなくても、7者の調査員の意見、良いところ、課題等話に出たものを教えてください。調査員がどのように捉えたかを聞いてみたいです。

#### ○堀田学校教育課指導主事

調査員の方でまずあがったのが、配列等も含めた目次の事があがっていました。東京書籍、教育出版、光村図書、日文、学研この5者に関しては配列順であったり、内容項目別があったり、テーマ別があったり、それぞれ違う部分があるのですが、他教科との関連があったり非常に学ぶ内容が分かりやすい目次等があります。日本教科書に関しては、非常に目次がシンプルでありますし、教材の順番も内容項目順に並んでいるため順番等も教員が考えていかないといけないという部分があります。他に目次を見れば分かっていたのですが、配列の中でユニット教材と言いまして、数時間まとめて同じテーマで進むというものが、先ほどの5者にはあるのですが、あかつきと日本教科書にはないということで、その辺りがまず違いがあるという話でした。

次に各者いじめに対しては、重点的に取り組んでいるように思いますが、特にいじめについて取り上げているページが多いのは、教育出版、光村図書、日文になっています。ただ多だけでなく、いじめ問題をユニットとして重点的に先ほどの5者は取り上げているという話が出ていました。

あとは細かい特徴ですが、別冊ノートが付いているのは、日文、あかつきです。あかつきの別冊は追加資料が非常に多いという形式になっており、日文の別冊ノートは毎日の記録を書いていくノートになっているという報告を受けています。あと各資料のページの後ろに各者タイトルが違うのですが、「考えよう」、「自分を見つめよう」というこの表題について何を学んでいくかということを考えるところがあります。それが東京書籍、教育出版が非常に進め方等が限定的と言いますか、進めやすくなっているという報告です。逆に特に光村図書に関しては、「見方を考えて」、「つなげよう」というタイトルが付いていまして、広げやすいという形になっているという話が出ていました。

#### ○大下教育長

主に冒頭で確認をさせていただきましたように、道徳教育を巡って大きく変更された点、この2年間に顕著な変更点はないということです。また調査員の報告を聞きましても、基本的に少し工夫をされて違いがありますが、各教科書の内容を見ても大きな変更、2年間における記述内容の変更等もないということです。2年前に採択をさせていただきました教科書通り東京書籍を採択をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

それでは、そのようにさせていただきます。

## ○大下教育長

以上で全ての審議が終わりましたので、もう一度私の方から、各教科の結果を確認させていただきたく思っております。

まず、国語は三省堂、書写は教育出版、社会の地理的分野は東京書籍、歴史的分野も東京書籍、公民的分野は日文、地図は帝国書院、数学は学校図書、理科は啓林館、音楽の一般は教芸、同じく器楽合奏についても教芸、美術は光村図書、保健体育は大日本、技術家庭の技術分野は東京書籍、家庭分野は教育図書、英語は三省堂、道徳は東京書籍、以上ですけれども間違っておりませんか。

よろしいでしょうか。それでは審議していただいた結果、このように岸和田市における令和3年度の使用教科用図書を採択したいと思いますのですが、よろしいですか。

(教育委員 異議なし)

それでは、そのようにさせていただきます。ご審議ありがとうございました。

## 議案第 57 号 岸和田市立小学校における令和3年度使用教科用図書の採択について

### ○大下教育長

議案第 57 号について、説明をお願いします。

### ○倉垣学校教育課長

議案第 57 号につきましては、岸和田市立小学校における令和3年度使用教科用図書の採択についてです。

資料①をご覧ください。岸和田市内小学校においては、一覧に記載しております教科用図書を令和2年度より使用しております。

資料②をご覧ください。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の第 14 条において、教科書採択につきまして、「政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。」と定められております。この「政令で定める期間」とは、無償措置法施行令第 15 条に「種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は、学校教育法附則第九条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、四年とする。」と定められております。このことから、今年度の小学校教科書の採択につきましては、昨年度と同様で、同じものを引き続き使用することとしております。ご審議よろしく申し上げます。

### ○大下教育長

説明が終わりました。発行者についても変更がないということでしょうか。

### ○倉垣学校教育課長

新たに検定を受けた教科書もありませんので、通例ですと今年度使用した教科用図書を継続するということになります。

### ○大下教育長

現在使用している教科書についても新年度発行される予定に変わりはないということですね。

では、法の規定に基づきまして昨年採択した教科書を新年度も使用するということがよろしいでしょうか。

(教育委員 異議なし)

○大下教育長

それでは、承認をさせていただき、採択いたします。

○大下教育長

以上で全ての案件が終了しました。

これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後7時10分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員